9999

終了年度

R4年度 事業名 R3年度 事業名 **母子保健相談指導事業**

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 312

P L I I N 健康づくり課 開始年度 1997 保護者がわが子の成長、発達を正しく理解し、育児不安やストレスの軽減を図る。

母子の健康に関する各種保健教育・相談・指導を行い、母親と乳児の健康保持と増進を図る。

コロナ対応 集団となるような相談の場はできるだけ避け、感染症拡大防止策を講じながら個別相談を中心に電話相談や訪問、来所相談等で相談業務を行う。 の取組

法令等 根拠 母子保健法 内 保育所や公民館等地域での成長や発達の相談や保護者の育児不安・ストレスの軽減に 客 努める。相談には専門職があたる。 実施 形態 民間等委託(一部) 現在

古 野指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
母子総合相談事業開催回数	回	目標値	60	48	48	48	48
		実績値	60	92	50		
成果指標				_			
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
母子総合相談事業参加者数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,500	1,500
		実績値	1,160	1,498	1,671		
計算 歯みがき指導・栄養指導(幼児健診時)、妊娠届時保健指導 根拠	1、両親学級	達成率	96.7	124.8	139.3		
根拠		実数値					

ランク Α Α Α

前年度 ランク B、Cの 理由

和	4年	度	事務	事業	調書	(評価	対象	事業	<u>:</u>)	基準	年度	: 20	022			211	
_	H 6		0010		1010	1 00	00	0/	201	【単位:千日	<u> </u>		= 1	An. A	\ =1		1
事	区分		2018		2019	20	570	20)21	2022		夕皇		一般会			
業費	予算額		1,32	_	1,145		576		888	9	76	-	業タイ	単独事			
~	決算額		1,18	0	286		168		888			桕	費区分	物件	•		
	No	款	項目				R44	年度事業	美名			予算	準書額	うち事	業額(千円)	
	1	4	1	1 202	母子保健	事業費							28,771			976	
歳	2																
出出	3																
出予算	4																
昇	5以降		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·														
													É	信		976	
	No			R4年間	度補助金等	名称			4	額(千円)							
	1			1 D	~ 110 -/J 3E 7J	H 14'			34								
دييد	2																
補助	3																
助金	4											_					_
等	5以降											事		員		2.07	
	りが柱											業要	会計年	度職員			
									合計	C)	員	※所要	時間		0	
法	今年により	実施す	ることが義務	付けられて			<u> </u>			い、コストの削減な	を図って	いるの	か。(2節	減できて	いる・1	横ばい・0:	増加し
`-'	まい・0い	,			•	はい	○ いいえ		ている)	○ 節減で				横ばい)増加し	ている
行政 (1)	なが実施す よい・○いし	「べき! いえ)	事業か。			はい	○ いいえ		デジタル (2向 Fl	技術を活用するな ノている・1横ばい・	び業務の低下	効率に	は向上して る)	いるのか	٠,		
			弟シアいるか			19.4.	<u> </u>	対		● 向上して				横ばい		低下し	ている
(2:	(2増加する見込み・1 横ばい・0減少する見込み) 率業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。																
			る見込み		横ばい		りする見込	み	(2同上(っている・1 横ばい・ ● 向上して		してい		横ばい		低下し	ている
	県または♪ ない・Oある		サービスと競	合している		Ī	→ + +		市民団体	や事業者に業務		ている		JC10-1		PERIO	
			目的や概要が	類似する事		ない (るか。	<u></u> ある			ついない)			-	● いま	. (いない	
	ない・0ある		1-31 1/12/10	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			○ ある		野海(海	助金等、受益者負	5 HD ナンじ	\ *. T*				<i>y</i> (a (.	
	合計		-#LD7	次年度	方向性の		₩ıl ८ -		(1いる・(の支守、文価有り)いない)	は記ると	<i>)</i> を唯	迷している			ر احداد (د	
	点数	庆	数区分	E	安		判定	有		標を達成できてに	いろか。			○ いる	,)いない	
	4.4	0	点~8点		善または ・休止			対性	川(2日/煙ェ	達成できている・	1進展	してい	3・0目標	に向かっ	ていない)	
	14		h 10 h		・ <u>ルル</u> または	維持また	とは事務改	文善 '-		標を達成できて	いる(〕 進	展してい	১ ।	目標に	向かって	いない
		9)	点~16点	事務	改善												
今	R4方I	句性=	→ *	推持													
∥年	Tfv &F	会会	度を引き締ぎ	· 幼児健診F	」 時の歯科衝々	上十や学者	もール・トスギ	道冲新元	リコロナウィ	ルス感染症に配	虚して	佣别非	5道で宝1	なすス ヨ	⊧ <i>†</i> - √h∣	児健診以名	lσ
度	内容	相影	指導事業に	ついても電	話や来所、記	調等での	個別的な相	談を中心	に実施し	、コロナ禍において	はオン	ライン	での相談	を実施す	る。		1.00
L																	
4	R3年度	. P/=	年度に引き結	き新刑つ	ロナウイルフ	成边壳拉一	大陸止のた	み 学業-	トや歯科は	新生士による集団:	岩道/ +/	田別指	道で宝体	1 to Z	hir Fn	相談老/2	٠
一年	の実績	せた	:専門的な視』	点での指導	を実施できた	È.					1H-43-40-1	III 11.1 1E	守く大ル	0720 27	inca 7	\ 10 BX 10 V	. [42
度	;	23	際機関寺で0 2回の夜間の						ンターと理	携し、実施した。							
ト	D0 4- 10	: etr 4=	1.D1 & # ~	. 6명 기의 소. Pr	· >	•											
けけ			とR4年度の				海州土內坐	金米上によ	ス個別相	談を中心に実施し	D /1 4=	昨永己	シ姑き畑	即扣款去	. ch . i . 1 =	宝体してい	· Z
ŕ	·R3年度	に実	施した両親学	級について	は、R4年度も	継続して、	、年4回の第	施を計画	しており、	安心して出産・育	児がで	きるよ	う支援をし	ていく。	T-1010	大旭して	· ~
	• K3年度	に実	他した夜間の	吐贩届出に	ついては、指	正日以外	の希望もあ	ったことか	ら、K4年)	度は随時対応する	よう体質	則を整	えている。				
	A44 / 1		. m.j	.													
			を踏まえたR														
	新型コロ	けウィ ライン	「ルス感染症! の活用につい	拡大防止を ても検討し	考慮しながら ていく、相談:	、集団での 指導事業の	の指導、相談 り実施にあり	炎の実施 とっては傷	万法を検診 康づくり課	t、また個別対応(だけでなく、子育 [、]	電話、	来課、 課、补	訪問)も充 会福祉課	実させて 、子音で	こいく。名 支援ヤ	・事業にお ンター等型	い 保
			て支援を行っ		то тыкс.	, + ^.	- J~,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~ 10-M	.ms - 1/PT	11 1 1	- ~ &	· LL	1 1 III 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		~~ -	- 7 17	
	R5方	句性=	⇒	維	持		1										

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

	【提案型i	5民主役	事業実施		=.	=.
l	年度	2019	2020	2021	2022	2023
I	取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
1	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

9999

終了年度

1961

R4年度 事業名 R3年度 事業名 こども口腔衛生事業 こども口腔衛生事業

健康づくり課

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減

開始年度

P L I I N 虫歯の予防、虫歯や口腔内の異常の早期発見、早期治療を行う。

歯科医師による歯科診察および歯科衛生士による幼児への歯磨き指導を行う。

(R2年度)コロナ感染症拡大に伴い、一時事業を中止したが、3密を避けるため、個別相談を中心に再開した。 (R3年度)引き続き、現在の形態で実施し、こどもの口腔衛生事業を推進する。 (R4年度)引き続き診察時や診察待機時の感染症対策に留意し、こどもの口腔衛生事業を推進する。 コロナ対応 の取組

法令等 根拠 母子保健法 内 幼児健診時に歯科医師による診察を行う(鯖江市歯科医師会に委託) 容 実施 形態 現在 民間等委託(一部)

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
歯科健診(1歳6か月児、3歳児健康診査時)	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,100
		実績値	1,088	1,309	1,130		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
歯科健診受診率		目標値		100	100	100	100
		実績値		100	100		
計算 幼児歯科健診受診者/健診受診者数	•	達成率		100	100		
根拠		実数値		1309/1309	1130/1130		
虫歯のない小学1年生の割合	%	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	50.5	48.5	54.1		
計算 虫歯のない小学1年生÷1年生数	•	達成率	101.0	103.0	108.2		
根拠		実数値	333/659	319/619	342/632		
		ランク	Α	Α	Α		

₹⊓	4年	由	車数	車業	調書	(評価対象	車架	:)	基準年	: FF .	20	22		215	
ΛΉ	4 +	义	尹佚	尹禾	响音	(叶)川)沙	尹禾	:/	奉华平 【単位:千円】		20	<i>L L</i>		210	,
事	区分		2018		2019	2020	20)21	2022	9	会記	†	一般会	 	
事業費	予算額	i	40	7	288	1,273		1,184	1,15		事業	と タイ	単独事	業	
費	決算額		40	2	141	1,273		1,174			経動	区分	物件費		
	No	款	項目	事業		R44	年度事業	美名			予算	書額	うち事業	と額 (千円)	
	1	4			妊婦・乳丝	切児健診事業費						75,381		1,157	
-44-	2														
歳出	3														
心出予算	4														
开	5以降														
														4.455	
lacksquare										1		É	計	1,157	
	No			R4年	度補助金等	名称		金	額(千円)						
	1														
補	2														
助金等	3														
等	4										事	正規職	員	0.04	
	5以降										業要	会計年	度職員		
								合計	0		員	※所要	時間	0	
法	今により	実施す	「ることが義務	付けられて		0			ハ、コストの削減を		るのな	か。(2節	減できてい	る・1横ばい・0±	曽加し
`-'	よい・0いし	,	de silk 1.		•	はい 〇 いいえ		ている)	節減でき		Letr).L		横ばい	○ 増加し	ている
行此 (1)	なが実施で よい・Oいし	へき	事業か。		•	はい 〇 いいえ		アンダル!	支術を活用するなと ている・1横ばい・0	業務が低下し	7半はている	向上して)	いるのか。		
住月	住民等のニーズは増えているか。														
(2:			・1横ばい・0) ⁻ る見込み		込み) 横ばい	○ 減少する見込	2 牌		2ス(進め方・手続 ている・1横ばい・0	き)の向 低下し	上を図	図っている)	るのか。		
囯.			サービスと競				20	(214170	○ 向上してい				黄ばい	○ 低下し	ている
	ない・0あ			постъ		。 ない 〇 ある		市民団体(1いる・()	や事業者に業務委	託して	いるか	٠,			
	§事業の□		目的や概要が	類似する事		るか。		(14.5.0	ν··α.ν· <i>)</i>				● いる	○ いない	
(14		ව <i>)</i>				ない ○ ある		財源(補助	金等、受益者負	旦など)	を確保	えしている	か。		
	合計 点数	F	点数区分		゙方向性の ∃安	判定	*	(1いる・0	いない)				○ いる	● いない	
	<i>™3</i> ∧		علا 0 . علا		<u>ュス</u> (善または		有		票を達成できてい <i>る</i> 達成できている・1	るか。 准展し	ている	•∩日標i	こ向かってい	いない)	
	12	U	点~8点		:•休止	維持または事務改	文善 性		を達成できてい				_	•	ハナでしょ
		9,	点~16点		話たは 务改善			● 14	Recept Co CV	.ల 🤇) <u>je</u> /	RO CV	~ ∪ н	保に向かって	,
	R4方	白化-	⇒	推持											
今年		_	<u> </u>		Dec / 1	L 19 11 16 16 1 - 1	NEKA	1.14.3M) m		. 123 .	- L-1	- et+ ttt_			
度	取組内容		ナ倫での圏科	健診や口	腔衛生に関う	する啓発について、歯	外医即会	と協議し、恐	条架正対束を講じる	いかり土	大して	・ 天他す	်		
L															
4	D2年用	≠ Vh U	日健診では年	18m (1 64	±2/1同 3/4±2		计归健 验	些沙老 个粉	で曲科健診を行る	· †-					
年	の実績	ر روم	した的くは十二	+0121(1.01)	E24E1 \ 0 RE2	4四/足砂を天旭の、2	WITCHERD.	又 1011年第	(C图行)建砂を打。	,,c ₀					
度	;														
から	DQ年度	宇生	iとR4年度の	经温之财	(ようか運車	i .									
け						。 感染症対策に留意す	る必要が	ある。							
7	新たに依	建診業	務につく歯科	医師もいる	ため、統一し	た健診ができるように	する必要が	がある。							
	生繕と	舞蹈	を踏まえたR	5年度の8	公 更占										
						通じて、所属歯科医師	而に呼び イ	かけをお願い	いする。						
]腔衛生事業を統合す		, <u></u>	, •••						

事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

こども口腔衛生事業とおとな口腔衛生事業を統合

【提案型]	5民主役	事業実施			
		2020			
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

こんにちは赤ちゃん事業

若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 総合戦略 体系

P 部署名 健康づくり課 開始年度 2008 終了年度 9999 目的 心身の状態が不安定になりがちな出産後の時期に、母子が社会から孤立することを防ぎ、乳児の安全な育成環境の確保を図る。 生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師または助産師が訪問し、不安や悩みを聞くとともに、子育て支援に関する情報を提供する。また、母子の心身の状況 や養育環境等を把握し、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供を行う。 コロナ対応 の取組 を実施。福井県緊急事態宣言解除後は、職員および母子の体調チェックや物品の消毒、マスクの着用等感染防止対策を講じた上で訪問を再開した。 (R3年度) 訪問を見合わせた時期は、配布資料の郵送、質問票によるストレスチェックおよび支援、体重計の無料貸出を実施。職員および母子の体調チェック や物品の消毒、マスクの着用など感染防止対策を講じた上で訪問を実施。 (R4年度) 引き続き、R3年度同様の感染対策を講じ、安全な実施に努める。 法令等 根拠 子ども・子育て支援法 内 保健師、助産師による新生児訪問により育児支援情報の提供を行う。 容

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
訪問指導スタッフ数の確保(在宅保健師・助産師)	人	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	12	12	12		
成果指標						_	_
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
声かけして訪問した率	%	目標値	100	100	-	-	-
		実績値	100	100	-		
計算 乳児のいる家庭の訪問件数/乳児のいる家庭の数		達成率	100	100	-		
根拠		実数値	551/551	489/489	-		
声かけして訪問した率	%	目標値			100	100	100
		実績値			88.1		
計算 生後4か月までの乳児のいる家庭の訪問件数/生後4か月まで 根拠 家庭の数 ※2021~	での乳児のいる	達成率			88.1		
根拠 家庭の数 ※2021~		実数値			480/545		
		ランク	A	A	В	1	

前年度|新型コロナウイルス感染症の影響で、2か月間(令和4年1月~3月)訪問を見合わせたため。

現在

民間等委託(一部)

和	4年	F度	事	務事	事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基準年 [【単位:千円】	度:	202	2		21	16
#	区分	•	2018		2	019	2020	20	21	2022	7	会計		一般会	 計	
事業	予算	_	1.9	968		1.766	1,788		1,748	2,217	タイ	事業	タイ	交付金		
業費	決算額	額		968		1,612	1.710		1,448		プ	経費	区分	物件費		
Ħ		款			事業	1,012	-/	年度事業	-,		1 —	工始 自	+ #E	シナ 由 判	·婚/工用\	-
	No 1	承	項 1	1		母子保健		十戊爭未	₹ 1			予算 書	8.771	ソク争オ	と額(千円) 2,217	
	2			-								_	0,111			
歳	3															
弘出予算	4															
算	5以降															
													合	計	2,217	
Ħ	No				D/任由	E補助金等	(夕称		仝	額(千円)						
		子 どま	・ 子育 ア =			国1/3県1			亚	1.166						
44	2	, – 0	1 11 ()	~~~	C13 75 (B 1/ 0 X 1,	7 07			1,100						
補助	3															
助金等	4															
等	5以降												E規職.	•	0.95	
	0.5111								4 -1	1.100		杏上	会計年			
									合計	1,166			⊗所要Ⅰ		0	
法令(1)	き等によ はい・Ou	り実施す	トることが爹	養務付	けられてい		はい 〇 いいえ		改善を行ている)	い、コストの削減を図・		るのか				
`		,	事業か。				14V1 O V1V12	•		○ 節減できて 技術を活用するなど業		加水沿向		黄ばい いるのか	○ 増加	している
(17	よい・0に	いえ)	サネル'。			\odot	はい 〇 いいえ		(2向上し	ている・1横ばい・0低	下し	ている)	1700	C-SUSIN'S		
住月	住民等のニーズは増えているか。										している					
(2増加する見込み・1横はい・0減少する見込み) ● 増加する見込み 横ばい 減少する見込み 性 (2向上している・1横ばい・0低下している)																
囯.			- , - , - ,		<u> </u>	スペイン 「業があるか		- 102	(=, ===	○ 向上している		,	● ħ	黄ばい	○ 低下	している
	ない・0ま		, 2,10	- 100 11 0			。 ない 〇 ある		市民団体(1いる・0	や事業者に業務委割	として	いるか。				
			目的や概要	要が類	似する事	務事業があ			(14.5.0	(4 ~ a. 4 ~ /				● いる	○ いない	A
(1)	ない・0ま	ව ට					ない ○ ある		財源(補助	协金等、受益者負担 权	など):	を確保し	ている	か。		
	合計 点数	,	点数区分			方向性の 安	判定	+	(1いる・0	(いない)			(● いる	○ いない	١
	从奴	٠,	.			<u>タ</u> 善または		有 効	(2日/煙を	標を達成できているだ 達成できている・1進)'。 展) -	ている・(7日煙1	ケ向かってい	いかい)	
	12	0	点~8点		廃止	·休止	維持または事務改	女善 性						-		-1
		9.	点~16点	į		または 改善			○ 日 6	票を達成できている	. •	進度	CCV	о ∪ в	保に円かつ	בניעני
	D/-		_	維持	±		•		-							
今年																
度	取制	_	ナの感染抗	広大時	にも切れ	目なく母子・	への支援を継続してい	けるよう、	オンライン	で子育て相談ができる	る体制	削を整備	し、子	育ての孤立	7.化防止を図る	5.
	13.5	•														
	D0 6	A 1	-04	-8 24	د ماده ایل مادر			NII								
来	R3年) の実績	度 令和	113年度は 内の感染状	、感染 況によ	延刃策を 切訪問を	講した上で	こんにちは赤ちゃん事 期(令和4年1月~3月	·栗を実施(引)は、訪問	した。 引で配布す	る資料を郵送し、アン	ケー	ト返送に	こて産が	の精神状	態を把握し、	必要に
費							(利用者:63件 前年									
^																
向け								#n ∧ → . ³ .	w w 1. 10 31 -	#						
	R4年月	度当初に	は、初産婦は	は訪問]、経産婦	には電話訓	「ることを防ぐため、早」 訪問を実施した。 電話	訪問は計》	則ができなり	いため、体重増加の評	平価や	授乳指	導を行	うことが困	難である。	
	また、	オンライ	ン子育て相	目談の	体制整備	を検討して	いるが、端末の使用場	易所が制限	される等語	懇題が残る。						
			を踏まえた													
	コロナ	禍におり	いても早期	に母子	一に寄り添	い、支援で	きる持続可能な方法を	を模索する	00							

R5方向性⇒

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

維持

 【提案型市民主役事業実施】

 年度
 2019
 2020

 取組選択
 不可能
 不可能

 実施状況
 未実施
 未実施

 2022
 2023

 不可能
 不可能
 2021 不可能 未実施 未実施 未実施

取如	피션	4	事業	Λŧ	子 如	\rightarrow
DI TH	HIB	~/J		V J 🌣	II I I	$\overline{}$

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

内 成長・発達について、専門職による計測、検査、診察、指導、相談を実施する。必要に応容 じて、医療機関や乳幼児育成指導事業の紹介を行う。

A

A

R4年度 事業名 R3年度 事業名 **1歳6か月児健康診査事業 1歳6か月児健康診査事業**

総合戦略 312 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 体系

実施 形態

活動指標 指標名 2019 2020 2021 2022 2023 健康診査実施回数 П 目標値 24 26 24 24 24 24 実績値 24 成果指標 指標名 健康診査受診率 目標値 100 100 100 100 100 実績値 97.1 97.5 97.7 計算 受診者数/対象者数×100 根拠 達成率 97.1 97.5 97.7 実数値 530/546 657/674 549/562

前年度 ランク B、Cの 理由

A

ランク

法令等 根拠

現在

母子保健法

民間等委託(一部)

和	4年	度	事務	事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基 準年 【単位:千円】	度:	202	2		21	8
事	区分		2018	2	019	2020	20)21	2022	9	会計		一般会計	t	
事業 費	予算額	ĺ	2,365	5	2,368	2,348		1,636	1,585		事業	タイ	単独事業	ŧ	
費	決算額	ĺ	2,125	5	2,083	2,348		1,619		72	経費	区分	物件費		
Ħ	No	款	項目	事業		R4	年度事業	*名	•		予算書	類	うち事業	額(千円)	-
歳	1 2	4			妊婦・乳幼	か児健診事業 費	127	N II				5,381	777	1,585	
&出予算	3														
> 1	5以降											合	計	1,585	
	No			R4年月	美補助金等	名称		金	額(千円)				·		
	2														
補助	3														
助金等	4												_	0.55	_
4	5以降										**	E規職 会計年		0.75	
								合計	0			《所要		0	
法名	* 筝により	宝施で	トることが義務・	付けられて	いるか。				い、コストの削減を図	(ってい	るのか。	、(2節:	減できている	る・1横ばい・0	増加し
(11	#w.0w	いえ)		111,7540 €		はい 〇 いいえ	-	ている)	○ 節減でき				黄ばい	~	ている
行政 (1)	なが実施 はい・()い	すべき いえ)	事業か。		(•)	はい 〇 いいえ		デジタル! (2向上し	技術を活用するなど ている・1横ばい・0	業務党 低下し	物率は向 ている)	上して	いるのか。		
住月	等のニ・	ーズは	増えているか。			101 01170	効		○ 向上してい				黄ばい	○ 低下し	ている
(2±			・1横ばい・0% -る見込み		込み) 横ばい	○ 減少する見込	率 大 _み 性		セス(進め方・手続き てい <u>る</u> ・1横ばい・0	§)の向 低下し	上を図・ ている)	っている	らのか。	_	
	県または	民間の	サービスと競行						● 向上してい			○ t	黄ばい	○ 低下し	ている
Ľ	ない・0あ		目的や概要が	精州才ス車		ない ○ ある		市民団体	や事業者に業務委 いない)	託して	いるか。		● いる	○ いない	
	ない・0あ		白可下帆安か	焼似りる事		ない ○ ある		財源(補助	助金等、受益者負担	など):	を確保し				
	合計 点数	,	点数区分	E	方向性の 安	判定	有)いない) 標を達成できている	か。		(○ いる	● いない	
	12	0	点~8点	廃止	善または ・休止 *******	維持または事務の	效善 対	(2目標を	達成できている・1 票を達成できてい	生展し			_		いかい
		9.	点~16点		または 没善			© D 1	K.C.EW.C.C.C.			O CV	О О Б 1	Wichin 2	, v a, v .
今年度	Hu 4日		ナ禍において			月児健診が実施でき 青度管理を行う。	るよう、引き	き続き感染	症対策を徹底し、受	診率の)維持・「	句上を	図る。また、	疾病スクリーニ	ニング
来 R3年度 感染症対策を講じた上で、1歳6か月児健診を年24回実施した。 年の実績 度						さ。 や所属して	ている保育	施設との連携を図り	、全数	把握を行	うった。				
向	R3年月	度実績	とR4年度の	経過を踏	まえた課題	[
け・新型コロナウイルス感染拡大に伴う受診控え ・精度管理															
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点															
	適切な	時期に	受診できるよ	た、県内の)感染状況を				- wm. 10 to - 2 - 2 - 2						
適切な時期に受診できるように、県内の感染状況を鑑み受診勧奨を行う。 健診にかかわるスタッフが一貫したきめ細やかな相談対応や、適切な医療・福祉サービスへの繋ぎができるようマニュアル化し、精度管理を行っていく。3歳 査事業に統合し、幼児健康診査事業とする。											いく。3歳児債	基康 診			

R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由 3歳児健康診査事業と統合し、幼児健康診査事業とする。

【提案型T	5民主役	事業実施			=
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取如	피션	4	事業	Λŧ	子 如	\rightarrow
DI TH	HIB	~/J		V J 🌣	II I I	$\overline{}$

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 3歳児健康診査事業 3歲児健康診查事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減

P 部署名 健康づくり課 開始年度 1995 終了年度 9999 目的

3歳児を対象に、集団健診を実施する。

コロナ対応 の取組 小限になるような動線の工夫、マスク着用、職員のフェイスシールド着用等の感染防止対策を講じた。 (R3年度) R3.5月は延期した。再開後は、対象者に対して自宅での体調チェックを依頼し、来館時の検温、受付時間を区切る、人数の制限、接触が最 小限になるような動線の工夫、マスク着用、職員のフェイスシールド着用等の感染防止対策を講じた。 (R3年度) R3.5月は延期した。再開後は、対象者に対して自宅での体調チェックを依頼し、来館時の検温、受付時間を区切る、人数の制限、接触が最小限にな るような動線の工夫、マスク着用、職員のフェイスシールド着用等の感染防止対策を講じた。 (R4年度) 引き続き、R2年度同様の感染対策を講じ、安全な実施に努める。

法令等 根拠 母子保健法

民間等委託(一部)

現在

実施 形態

内 問診、計測、内科診察、歯科診察、個人相談、尿検査、視聴覚検査 容

冶 動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
健康診査実施回数	回	目標値	24	24	24	24	24
		実績値	22	26	24		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
康康验本巫验 家	0/	日煙店	100	100	100	100	100

実績値 99.5 97.9 97.2 計算 受診者数/対象者数×100 根拠 達成率 99.5 97.9 97.2 581/598 実数値 558/561 652/666 ランク

A A A

前年度 ランク B、Cの 理由

和	4年	度 事務	事業調書	(評価対象事	工業	i)	基準年	度:	2022		219)
. 1		X 7 3 3	7 /CH4 E	(HI M) (H)	- //	-/						
#	区分	2018	2019	2020	20)21	2022	9	会計	一般会	計	
事業	予算額	2,949	9 3,172	2,869		2,285	2,339		事業タイ	単独事	 業	
業費	決算額	2,72		2,869		2,039		コプ	経費区2	物件費		
Ħ			事業		年申3				工質畫類	シナ 由 3	業額(千円)	
歳出予算	No 1 2 3 4 5以降			R4年 <u>B</u> 力児健診事業費	艾争为	<u>K</u> 4			予算書額 75,3		2,339	
Ħ	No		R4年度補助金等	夕称		소개	額(千円)				,	
	1		八十十尺州功亚寸	11117		ME 1	以(111)					
1 =12	2											
補助	3											
助金等	4											_
₹	5以降									職員	0.77	
						ᄉᆂᆚ	0		[참	年度職員	^	
						合計			* * /*//	要時間	0	DA 1
法令(14	き等によりヨ よい・○いい	ミ施することが義務 え)		はい 〇 いいえ		改善を行いている)	、コストの削減を図			がしている。 かしない	~1 横はい・05	
行正	対実施す	べき事業か。		101 0112		デジタル技	術を活用するなど	業務效)率は向上し		○ 増加し	C4.2
(17	まい・ひいい	え)	\odot	はい 〇 いいえ		(2向上して	こいる・1横ばい・0位	低下し	ている)			-,,,
住員	民等のニー 曲hnナス目	ズは増えているか。 込み・1横ばい・0)	最小子ス目ぶる)		対率		○ 向上してい :ス(進め方・手続き		~)横ばい	○ 低下し	ている
(2)		加する見込み	● 横ばい	○ 減少する見込み	1.0		こいる・1横ばい・0	低下し	ている)			
			合している事業があるか	•			● 向上してい)横ばい	○ 低下し	ている
	ない・0ある			ない 〇 ある		市民団体?	や事業者に業務委 ハない)	託して	いるか。			
	务事業の中 ない・○ある		類似する事務事業があ	るか。 ない ○ ある						● いる	○ いない	
		,			4	財源(補助(1いる・())	金等、受益者負担	など)	を確保してい	いるか。		
	合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有		,			○ いる	● いない	
	7.11.22.	0点~8点	事務改善または		効		票を達成できている 達成できている・13	か。 進展し	ている・0目	標に向かって	いない)	
	12	\m\	廃止・休止 維持または	維持または事務改善	性		を達成できてい	3 (進展して	いる〇目	煙に向かってし	いたい
		9点~16点	事務改善			O 114	EEM CC CC	•		. СОС	Wickel 20 2 C	
今	R4方向	i件⇒ 事料	務改善									
つ年度	Ho ∳D	コロナ禍において	も安心・安全に3歳児健	診が実施できるよう、引き 里を行う。保育所等との連	き続きタ 連携も引	感染症対策 強化していく	を徹底し、受診率の 。	の維持・	向上を図る	る。また、疾病	スクリーニングの	判定
												
年度へ	の実績	また、未受診者に		の観点から豕庭訪問や門	f属して	ている保育が	語との連携を図り	、全数	把握を行っ	た。		
向けて	・新型コロ	コナウイルス感染拡	経過を踏まえた課題 :大に伴う受診控え									
	生体しる	用題を除せるを ロ	5年度の亦重 5									
		果題を踏まえたR! ###に悪診できると										
	健診にか	切な時期に受診できるように、県内の感染状況を鑑み受診勧奨を行う。 診にかかわるスタッフが一貫したきめ細やかな相談対応や、適切な医療・福祉サービスへの繋ぎができるようマニュアル化し、精度管理を行っていく。1歳6か月児 康診査事業と統合し、幼児健康診査事業とする。										

R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由 1歳6か月児健康診査事業と統合し、幼児健康診査事業とする。

【提案型T	5民主役	事業実施			=.
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

Í۷	知	ਜ	船	ナ	事業	σ	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	13
ıx	жн	н.	ни	14	##	• •	7 Fig. 301	_

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 **乳児一般健康診查等事 乳児一般健康診查事業** 乳児一般健康診査等事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 312

部署名 健康づくり課 開始年度 終了年度 9999 目的 乳児の月齢に応じた発育、発達、栄養状況を確認し、異常の早期発見、治療および必要な指導を行う。

対象者(新生児、1か月児、4か月児、9~10か月児とその保護者)に受診票を交付し、県内医療機関で個別健診の方法により実施する。

コロナ対応 (R3年度) コロナ禍においても健診受診が重要であるという国からの情報提供を行い、安心して健診が受けられるように努めた。 の取組 (R4年度) 引き続き、必要時情報提供等を行い、受診率の維持・向上に努める。

内 専門の医療機関において発達の節目に健康診査を委託。 容 法令等 根拠 母子保健法 実施 形態 現在 民間等委託(一部)

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
健康診査受診票交付対象数(1か月児)	人	目標値	600	600	600	580	580
		実績値	557	525	569		
健康診査受診票交付対象数(4か月児)	人	目標値	600	600	600	580	580
		実績値	573	527	550		
健康診査受診票交付対象数(9~10か月児)	人	目標値	580	580	580	580	580
		実績値	602	566	510		
新生児聴覚スクリーニング検査受診票交付対象数	人	目標値			580	580	580
		実績値			561		

成果指標		-					
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
乳児一般健康診査等平均受診率	%	目標値	98	98	98	98	98
		実績値	96.6	96.3	95.4		
計算 1か月児・4か月児・9~10か月児および新生児聴覚スクリー 根拠 合計受診者数/合計受診票交付対象者数	達成率	98.6	98.3	97.3			
【代例 日刊文的有数/日刊文的宗文刊对象有数		実数値	1673/1732	1558/1618	2090/2190		
						1	

ランク Α

前年度 ランク B、Cの 理由

ŧΠ	4年	F度	틬	蔣	事業	調書	(評価対象	東事業	Ě)	基 準年 / 【単位:千円】	度:	20	22		22	20
	区分		201	8	2	2019	2020	1 :	2021	2022		会計	+	一般会記	 	
事	予算			9,923	-	9,941	10,481	•	10,536	14,016	タイ	_	<u>''</u> 業タイ	単独事業	_	
業費						-			-	14,010	117	_	ところ	物件費	*	
	決算額	規		9,446		9,492	9,053		9,491		┙┕	性」	1亿万	100 厂員		
	No 1	款	項	目 1	事業 203	妊婦・乳丝	R 切児健診事業費	4年度事	業名				書額 75,381	うち事業	養額(千円) 14,016	
	2												-			
歳	3															
歳出予算	4															
算	5以降												4	計	14,016	1
=	No	No R4年度補助金等名称 金額(千円)														J
	No 1				八4平月	人們別並守	'口你		亚	RK (I D)						
補	2															
補助金等	数 3															
筝等	4											車	正規職	B	0.29	\neg
	5以降											業要	会計年	•	0.23	
									合計	0		安員	※所要		0	
												1				
法 ⁴ (1)	き等によ はい・○い	り実施でいる)	トること	が義務付	けられて		はい 〇いい	え	改善を行いている)	ハ、コストの削減を図		るの7		減できてい 黄ばい		0増加し している
	なが実施 はい・Ou		事業か	•			はい ○ いい	<u> </u>	デジタル打(2向 FL)	支術を活用するなど。 ている・1 横ばい・0 仮	業務效	率はている	向上して		<u> </u>	
住月	民等のニ	ーズは					140, O 6,6,		効	● 向上してい	る			黄ばい	○ 低下	している
(2:		見込み 増加す			少する見	込み) 横ばい	○ 減少する見		率 業務プロゼ 性 (2向上し	セス(進め方・手続き ている・1横ばい・0位 ● 向上してい	ま下して	上をl ている)	らのか。 黄ばい	○ 作下	している
(1:	ない・0ま	5る)					ない 〇 ある		市民団体	や事業者に業務委託		いるか	۰,	<u> </u>		
事》 (1:	务事業のない・0ま	中で、 5る)	目的や	概要が舞	似する事	務事業があ	るか。 ない 〇 ある		財源(補租	力金等、受益者負担	など) ス	を確信		● いる か。	○ いない	',
	合計 点数	,	点数区	分		方向性の l安	判定		(1いる・0	いない)			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	์ เงื่	● いない	١
	14	C	点~8	点		善または ・休止	坐はよれけ車数	11	効(2目標を 性	標を達成できている: 達成できている・1追	か。 態展して	ている	・0目標	こ向かって(-	いない)	
	14	9.	点~10	点		または	- 維持または事務	以普	● 目標	を達成できている	5 C	進	展してい	る○ 目:	標に向かって	ていない
今	R47	向性	→	統1	合]										
年度	rit	認施でする。	できた。 rる。また 。 、事業	令和4年 た、健診の 統合した	度は健診の結果、 の結果、 新生児聴	の通知書に 支援が必要な 「覚スクリーニ	、健診は児の成長系 な親子については、他 ニング検査についてに	発達を確認 建康づくり。 は妊娠届し	をするためにた 果で実施して 出時にチラシ	0受診を見合わせた 大切であることを掲載 いる相談事業や子育 を用いて受検の大切	はすると すて支 」さを影	とも 接セン も明し	に、引き線 ンターにし 、受診勧	売き未受診 いろ等を新 奨を図る。	者には受診観 紹介し、各所で 新生児聴覚2	奨を実 連携 スクリー
来年度へ	R3年 の実績	度新り	と児聴り 全数で 見健診に	覚スクリー 検査を実 こついて	ーニング検 施できて も未受診	を査について いる。 者には電話等	は、市の発行する受 等で受診するように(診券を使足している。	用せずに受認	きする場合もあるが()	医療保	保険で	笑施する	る、母の住所	所地が市外場	合な
、向けて	乳児債		•			まえた課題 市に返却され		己載された	:相談に対して	こリアルタイムに対応	するこ	とが	難しい現場	犬がある。		
	実績	と課題	を踏ま	えたR5:	年度の変	更点										
							も柔軟に対応しても	らえるよう	に周知する。							
	R57	向性	⇒		維	持										
	CHEC	V (No 4	F度卡	向性の	日本)と	DF年度古I	ーーーー 句性が異かる場合	N-1+ Z	の神山							

-						
	【提案型T	5民主役	事業実施]	_	
	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

民間等委託(一部)

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 312

P L I I N 健康づくり課 開始年度 終了年度 1996 9999 妊娠中の異常の早期発見と予防、胎児の健康状態の把握、B型肝炎の母子感染防止など、妊娠期における健康管理を支援する。 妊娠届を提出した妊婦に対し、受診票を交付し、県内の医療機関において全ての妊婦に対し、14回を限度として公費負担の妊婦健診を実施する。 コロナ対応 (R3年度) コロナ禍においても妊婦健診受診の重要であるとの国からの情報提供を行い、安全に安心して受診できるよう努めた。 (R4年度) 必要時情報提供等を行い、受診率の維持向上に努める。 法令等 根拠 内 容 公費負担により、県内の医療機関と委託契約し実施する。 母子保健法 実施 形態

活動指標										
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023			
妊婦一般健康診査受診票交付数	人	目標値	700	700	700	600	600			
		実績値	610	595	579					
成果指標										
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023			
妊婦一般健康診査受診率	%	目標値	85	85	85	85	85			
_		実績値	101.7	97.3	104.6					
計算 年度内受診件数/(14回分×受診票交付数) 根拠 の受診票平均使用枚数により、H29からは分母を11回分×受	1人当たり	達成率	119.6	114.5	123.1					
根拠 の受診票平均使用枚数により、H29からは分母を11回分×受診票交付数とする。			6825/6710	6349/6545	6659/6369					
		ランク	A	A	A]				

前年度 ランク B、Cの 理由

現在

DO

(実施)

度

Ŏ N

令和4年度 事務事業調書 (評価対象事業) 基準年度: 2022 222 【単<u>位:千円】</u> 2018 2019 2020 2021 区分 2022 会計 一般会計 55,640 56,283 事業タイ 単独事業 予算額 55,681 58,935 56,300 経費区分 物件費 決算額 55,535 52,634 52,141 53,021 目 事業 R4年度事業名 予算書額 うち事業額(千円) 203 妊婦・乳幼児健診事業費 75.381 4 56,283 1 1 1 2 3 出 4 5以路 合計 56,283 R4年度補助金等名称 金額(千円) No 1 2 3 4 正規職員 0.24 5以降 会計年度職員 合計 0 ※所要時間 0 法令等により実施することが義務付けられているか。 はい ○ いいえ ○ 節減できている ● 横ばい ○ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1 横ばい・0低下している) 行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ● はい ○ いいえ ● 横ばい ○ 低下している 図っているのか。 ○ 低下している ● 横ばい (・) いる () いない

CHEC:	(2増加する見) 増	・ズは増えているか。 L込み・1横ばい・0 加する見込み 民間のサービスと競	● 横ばい 合している事業があるか	_	効率性	プロエしている 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を (2向上している・1横ばい・0低下している 向上している 市民団体や事業者に業務委託している
K(評価)	事務事業の中(1ない・0ある	で、目的や概要が	類似する事務事業があ ・ 次年度方向性の	ない () ある るか。 ない () ある		(1いる・Oいない) 財源(補助金等、受益者負担など)を確((1いる・Oいない)
	点数 11	0点~8点 9点~16点	目安 事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している 目標を達成できている 進

保しているか。 ○ いる ● いない 5·0目標に向かっていない)

展している 〇 目標に向かっていない 維持 R4方向性⇒

妊婦健診受診券の発行に際しては全数面接を行い、気がかりな妊婦を見逃さないようにしている。要フォロー妊婦については受診券の返信をもって受診状 況を把握し、未受診の場合には早急に対応する。受診券の結果から妊婦の健康課題を把握し、適切な情報提供を行うことで受診率の向上に努める。妊娠 期からアイアイ親子サポートセンターの周知を行い、困ったときに相談できる場所という認識を持ってもらえるようにする。

来R3年度 令和3年度の妊娠届出数(転入含む)は579件であり、その全数で面接を行った。面接の際は、アイアイ親子サポートセンターのチラシを配布し、周知を 年の実績 度

内 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 け 面接に関しては全数実施できており、受診券の返信

面接に関しては全数実施できており、受診券の返信から未受診者の把握及び対応ができている。今後も妊婦健診受診券発行時にはアイアイ親子サポートセンター や新生児聴覚スクリーニング検査の周知徹底をする。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

面接の際には確実に妊婦健診を受診するよう伝え、未受診者の減少に努める。

R5方向性⇒ 維持

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

	【提案型】	5民主役	事業実施		_	_
I	年度	2019	2020	2021	2022	2023
I	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
I	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
_						

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 予防接種事業 予防接種事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減

P 部署名 健康づくり課 開始年度 1951 終了年度 9999 目的 予防接種による免疫の獲得により、感染症の流行的な発生を未然に防止する。

| | 定期の予防接種として、ロタウイルス、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、4種混合、3種混合、ポリオ、BCG、水痘、麻しん風しん1期・2期、日本脳炎、2種 | 混合、子宮頸がん予防ワクチン、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌を実施する。 | 任意の予防接種で、成人の風しん予防接種費用の一部助成を実施する。

<mark>コロナ対応</mark> コロナ横のため受診控えによる接種率の低下も見られたが、医師会とも連携し、必要な予防接種を受けることができるよう市民に情報提供を行った。R4年度も の取組 引き続き必要時に情報提供等を行い、接種率の維持・向上に努める。

法令等 根拠 内 対象者への通知や接種勧奨は、市で実施。接種については、市内指定医療機関、県内 な域での委託契約を結び実施。 予防接種法、感染症予防法 現在 民間等委託(一部)

10 20 10 .00										
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023			
個別予防接種 指定医療機関数	医療機関	目標値	185	185	185	185	185			
		実績値	180	185	194					
成果指標										
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023			
予防接種接種率	%	目標値	90	90	95	95	95			
		実績値	92.2	96.5	96.8					
計算 受診者数/対象者数×100(H25から、日本脳炎特例者第 根拠 勧奨が行き渡ったことで、対象者に含んでいる。また、H26.10 種となった水痘および、H28.10.1から定期接種となったB型肝	31期の積極的	達成率	102.4	107.2	101.9					
根拠 種となった水痘および、H28.10.1から定期接種となったB型肝	バロルウル・別数 F炎の通知対象	実数値	14,733/15,978	15350/15903	13,420/13,862					
		ランク	Δ	Δ	Δ					
		, , ,	Λ	Λ	Λ					

前年度 ランク B、Cの 理由

活動指標

和	4年	度	事務	事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基準生		202	22		22	23
	区分		2018	2	019	2020	20)21	【単位:千円 2022		会計	•	一般会		
事業	予算額		163,198		174.428	193,191		83,495	238,98	タ 4 1	_	タイ	単独事		
費	決算額		162,820	_	163,778	192,478		61,205	200,00	<u> </u>		区分	物件費		
H	No	款	項目	事業	100,110		年度事業				予算	東 獅	ふた事業	養額(千円)	
	1	σλ 4		2 201	予防接種		十以尹才	(1)				音観 38,984	ソクサオ	238,984	
-UE	2														
歳出	3														
心出予算	4														
异	5以降														
														22222	1
										_		É	計	238,984	
	No				ぜ補助金等	名称		金	額(千円)						
		染疽	予防事業費	等補助金	È				5,621						
補	2														
助金	3														
等	4 5以降											正規職	員	0.537	
	3以降									_	業要	会計年	度職員	0.333	
								合計	5,621		員	※所要	時間	0	
法*	う等により	実施す	てることが義務	付けられて	いるか。			改善を行っている)	ハ、コストの削減を			-			
`-'	• • • • •	,	市米 人		•	はい 〇 いいえ			● 節減でき 支術を活用するな				横ばい	○ 増加	している
(1)	なが実施す はい・()いに	え)	争業が。		•	はい ○ いいえ		(2向上し	ている・1横ばい・	0低下し	でいる)	可工して	ເທລບານ _າ 。		
			増えているか。		· · · · ·		効		● 向上して				黄ばい	○ 低下	している
(2:	_		・1横ばい・0》 ⁻ る見込み		込み) 黄ばい	○ 減少する見込	み 樫		2ス(進め方・手糸 ている・1 横ばい・	続)の向 0低下し	上を図 ている)	っている	らのか。		
国・			サービスと競り						● 向上して	いる		O #	黄ばい	○ 低下	している
(1:	ない・0ある	5)			•	ない ○ ある		市民団体	や事業者に業務 いない)	委託して	いるか		_		
	条事業の中 ない・○ある		目的や概要が	類似する事		るか。 ない 〇 ある			,				● いる	○ いない	, 1
`-				*		1		財源(補助)	カ金等、受益者負いない)	担など)	を確保		_		
	合計 点数	Æ	数区分		方向性の ∣安	判定	有			 1.		-	● いる	○ いない	1
		0	点~8点		善または		効性	(クロ 煙を	標を達成できてい 達成できている・	いるか。 1進展し	ている・	0目標	こ向かってい	いない)	
	15				<u>・休止</u> または	維持または事務改	善		栗を達成できて	いる(進展	見してい	る〇目	標に向かって	ていない
		9,	点~16点		改善										
今	R4方I	句性:	⇒ 事務	務改善											
∥年	Tfv &F	子宫	 『頚がんワクチ	ンについて	、積極的勧	奨が再開されるとともに	こ、接種の	機会を逃し	た対象の方への	キャッチ	アップ担	後種も開	始となる。	対象となる方法	が安心
度	内容	してまた	接種を受ける、幼児期の予	ことができる 防接種につ	るよう丁寧なり いては、幼!	情報提供に努めていく 児健診や就学時健診	。 等においっ	て未接種者	への勧奨に努め	一層の	接種率	向上を	図る。特に	、日本脳炎ワ	クチン
		の供	特不足があっ	ったために接	種を控えて	いた方々への丁寧な技 ため、クーポン券を発	姜種勧奨 で	で接種率向	上を目指す。	, ,,,					. , .
来	R3年度	子と	もの予防接種	(A類疾病	の接種率に	ついては90%を超え、	ているが、	新型コロナ	ウイルス感染症の	の感染拡	大によ	る接種	空えがあり、	予防接種に。	はっては
年	の実績	成人		ン第5期(A業	頁疾病)につ	いては、R6年度末まで								実施した。	
度へ	,	B類	予防接種につ	いては、R3	年度には予	診票と接種券を兼ねた	た様式で	固別送付す	ることとし、封入	封緘事 務	をアウ	トソーシ	ングした。		
		実績	とR4年度の	経過を踏	まえた課題	Į.									
けて	1 - 00					を目指し、集団感染の わせ事務を改善し簡素									
	し、広報	等で	亢体検査の勧	奨を行い、	らに、予防	接種の未接種者には勧	助奨通知	を行った。					C (3)	〒以直り入ル	C1EX
	子宮頸7	がんワ	た うい Cは、〒 クチンについて	て、積極的	か奨の再開と	:接種券を兼ね個別送 :接種の機会を逃した。	付象の方	へのキャッチ	コステのでノリーアップ接種の通	印送付を	開始し	。 た。あわ	せて接種	を見合わせて	いた時
	実績と	課題	を踏まえたR!	5年度の変	更点										
			ため、丁寧なって免疫を失っ			⁻ る。 成事業を統合する。									
	E-W 114		/2/2/4/		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •										

事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

医療行為によって免疫を失った場合の再接種の助成事業を統合

【提案型T	5民主役	事業実施		_	_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

R4年度 事業名 R3年度 事業名 **保健対策推進事業**

総合戦略 4332 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 体系

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
健康づくり推進員の委嘱	人	目標値	300	300	280	270	270
		実績値	297	280	280		
食と健康・福祉フェアの開催	П	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	-	-		

成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
食と健康・福祉フェアの参加者数	人	目標値	2,400	2,400	2,400	500	-
		実績値	2,700	-	-		
計算 根拠	-	達成率	112.5	-	-		
根拠					-		
		ランク	٨	_		1	

前年度 ランク B、Cの 理由

10(実施

1												【単位:千円】								
		区分		201	8	2	019	2020		202	21	2022	1	会計	•	一般会計	ł			
	事					-							9					-		
	業	予算			1,983		996	1,	147		1,303	647	111	事業	91	単独事業	€			
	費	決算額	酒		827		996		944		955		117	経費	区分	物件費		7		
	Ш	D(3F1	IR.		021	<u> </u>	330		J44		333				. — , •			—		
		No	款	項	目	事業			R4年度	事業	名			予算	事額	うち事業	額(千円)			
		1	4	1	1		委員報酬			• >14				• /	273	7 2 3 210	273			
	-11-	2	4	1	1	201	保健衛生	事務諸経費							1,266		140			
	歳	3	4	1	1	204	市町村保	健対策推進	車楽器						1,368		234			
תו	出予算		4	1	1	204	利氏	进刈水 油连	尹 未貝						1,300		234			
۱۲	一	4																		
ľ	算	5以降			1	1														
4		0.511.1																		
丕																				
DO(実施)															슴	計	647			
$\overline{}$	1																•			
		No				R4年度	【補助金等	名称			金	額(千円)								
		1																		
	補	2																		
	断	3																		
	金	_																		
	助金等	4												事	正規職	B	1.05	i		
		5以降												**			1.00	i		
														業要	会計年	艾職員		i		
											合計	0			※所要	持間	0	i		
⊨												_						1		
	法令	き等によ	り実施す	ることが	が義務を	けけられてい	いるか。					、コストの削減を図	ってい	るのか	。(2節	減できている	る・1横ばい・0増加	加し		
	(1)	おい・のい	いえ)					はい 💿	いいえ		ている)	● 節減できて	いる		○ ‡	黄ばい	○ 増加してい	いる		
	行正	対実施	オベキ	主業か						11	デジタルお	技術を活用するなど美	-	家は「			O I BARTO CI			
	(17	よい・ハ	いえ)	サ末り'。	•			はい 〇	いいえ		(2向上し	ている・1 横ばい・0 但	下じ	こいる)	-1 TO C	(··• OV) II · 0				
۱_		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	,					194.	٧٠٧٠	効	(=,,,==	○ 向上してい		,		曲ばい	○ 低下してい	いス		
<u> C</u>	住!	と等のニ	ーズは	曽えてい	るか。	***	T - 1			郊	MK =4= - 1			1 . 2. 500	· ·	,,,,,	O EXTOC	V		
lΗ	(2)					少する見		O		华	業務フロセ	とス(進め方・手続き ている・1横ばい・0個	の同	上を図	っている	のか。				
١F		\cup	増加す	る見込	∖み	● ∤	黄ばい	○ 減少す	る見込み	11	(2回上して			(いる)		#:). B') \				
ı٣	虱⋅	県または	民間の	サービン	スと競合	している事	業があるか。					○ 向上している				黄ばい	○ 低下してい	へる		
ᅡ	(1)	ない・0ま		,	. – ,,,,,,	• • • •		ない 〇 :	÷ 2		市民団体	や事業者に業務委託	としてし	いるか。	,					
CHECK (著	# 4	を単準の		→ 44 	m and 1845	いみっま			නව	-	(1いる・0)	いない)				O	(a) 1 (a) 1 (b) 1 (c) 1			
	事 を (1)	タ手業にない・()ま		日的や佐	な 安か 労	似りる争	務事業がある	ないっこ	÷ 2						'	○ いる	● いない			
買	(1.	a.v. Oa)• J /					av. 0	න ි		財源(補助	金等、受益者負担	など) マ	・確保	している	か 。				
価		合計			_	次年度	方向性の			1	(1wa·0)	ふない)	, ·			\sim	(a) 1. 2. 1.			
		点数	K	数区	分		安	判別	Œ	有					,)いる	● いない			
		******					善または			効		票を達成できている。		-1 \ 7	Λ □ Ι ΞΕΙ		,			
		9	0	点~8.	点		·休止	AD LL 1. 1. 1. 1.	-ttt . 36	効性	(乙日保を	達成できている・1進	展し (ている・	U日保	こ同かってい	12(V)			
		9					または	維持または	事務以善		○ 日標	を達成できている	(准用	してい	る○ 目ホ	悪に向かっていた	ない		
			9,	点~16	点		改善				О Ни		_	~_		• о п.				
							716													
	一	· R4ブ	前向性=	⇒	内容	縮小														
	年	:	1 /12	. שנמניב	4'4 P 1.	巫士人儿	n of sile on below	12 HII 100 3		_16 _	D E V 771		a A 21	J 1.	> 24 ml m			//8		
	度	: 以利	■ 健月	もつくり指	E進貝と がった。	変育会と(の店虭の遅り	かかの明確である。 ぬ計せる 合り	らなため、少し・健康・遅か	ファン	区長会では	也域の地区組織が理 B小し、市内量販店(肝で	さるよ [、])活動の	内谷の兄匠	10や火牛度の父(15		
	′~	内容	190	プリ州立で	N.VA.	715 6 6	るより励哦 1	灰町する。氏と	一定冰 抽仙	71,	はがに大位が	日小し、川門里駅心	C C Dt	THE 0						
	Z	RQ在	査 健月	ぎづくり丼	*准協議	会の開催	1回(書面)	健康づくり推	准員の委嘱	£ 280)人 さばえ	食と健康・福祉フェ	アは目	144休	ıŀ					
	企	の宝料	各	(- () JE		A S DO IN		(DEM(> 1)10	- C- C - C - C - C - C - C - C - C - C	, LO	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	LICIUM HILL	, 10-1	U IEE FI	ш.					
	1 4	の実績																		
١.	^	`——																		
Α	一回	R3年	度実績	とR4年	₣度の績	圣過を踏	まえた課題													
ACT TON	旧け	対面式	での会	議、講点	座参加っ	や戸別訪問	りなど、人が	集まる場となる	ため、コロナ	対策	を行う必要	がある。								
۱Ť	て						.R2·R3実施	を見合わせた				-								
Ιŧ		R4は、	アルプ	ラザ鯖江	Lにて開	催予定														
ΙŸ																				
ΙX		and and a second		> md. > -																
IN		実績	に課題	を踏まれ	えた た	年度の変	更点													
		健康	がり推進	員活動	につい	てはコロナ	対策を徹底し	た上で活動を	と継続してい	く。										
					-															
DELLEM .																				
R5方向性⇒ 維持																				
CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には								7.0	THI -L.											
								物合には、	、ての	生出										
	411								1											
ľ	提集	型市	民主视	李丰	実施				R4年度	: [
	年月		2019)20	2021	2022	2023	事業名											
l to	で女口ご		可能		AL	조리纶	조리완		F A 1	-		2 十 処 甫 坐 た ふ ふ	- dec	/ %/ / 1	m\					

【提案型T				_	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

総合戦略 体系 生涯現役で生涯青春のまち 若くて元気のまちの創造 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

P 部署名 I 目的 N (計 健康づくり課 開始年度 1975 終了年度 9999 在宅当番医制の普及、定着を図る。 祝日、休日の午前9時から午後5時まで、市内2医療機関で診療を実施する。

コロナ対応 特になし の取組

法令等 根拠 医療法 内 市民が安心して適切な医療サービスを受けられるよう、祝日、休日の午前9時から午後5 時まで、市内2医療機関で診療を実施する。 実施 形態 現在 民間等委託(全部)

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
開設日数	日	目標値	76	72	72	72	73
		実績値	76	72	72		
成果指標				ā	_	-	
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
休日診療対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
計算 休日診療開設実施医療機関数/休日診療開設予定医療程機	機関数	達成率	100	100	100		
根拠		実数値	152/152	144/144	144/144		
		ランク	Α	Α	Α		

前年度 ランク B、Cの 理由

和	4年	度	事務	务事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基準年	连度:	20	22		25	58
									【単位:千円】	L					
事	区分		2018		2019	2020	20	21	2022	9	会計	 	一般会記	Ħ	
事業費	予算額	Į.	3,3	27	3,361	3,395		3,381	3,399		事業	きタイ	単独事業	業	
費	決算額	Į .	3,3	26	3,361	3,395		3,381			経費	区分	物件費		
	Ma	±1.				<u> </u>	中中世				工 告	事婚	シナ 市 出	を婚 (工. 田)	
歳出予算	No 1 2 3 4 5以降	款 4	項 [1 30		大4年 対策事業費	E度事業	《 在			予算:	3,399	うら事業	3,399	
				D.16	M A JUST M	r As TL			佐 / オ m \	1			1 11 1	0,000	
l	No			R4年	度補助金等	名称		金	額(千円)						
	1														
補	2														
助	3														
助金等	4										事	正規職	8		\neg
	5以降										業要	会計年	- 1		-
								合計	0	•	安員	※所要		8	-
										_					
法 * (1)	き等により はい・Oい	実施で	トることが義	務付けられ	ているか。	はい ○ いいえ		改善を行いている)	ハ、コストの削減を		るのか				
,		,				はい 〇 いいえ			節減でき		Left)그		横ばい	○ 増加	している
行政 (1)	なが実施` はい・Oい	すへき いえ)	争業か。		(•)	はい 〇 いいえ		てンタルも	支術を活用するなと ている・1 横ばい・0	乗務%	がいる	9上して)	いるのか。		
住目	と等のニ・	ーズは	増えているが	١,			効		○ 向上してい	いる			黄ばい	○ 低下	している
	増加する	見込み	・1横ばい・)減少する!		0	率		2ス(進め方・手続	き)の向	上を図	っている	5のか。		
	(•) ;	増加す	る見込み	\bigcirc	横ばい	○ 減少する見込む	み	(2同上し	ている・1横ばい・0		ている		黄ばい	○ 併玉!	している
国:	県または ない・Oあ	民間の	サービスと	境合している	多事業があるか	`		古足団体	や事業者に業務委		いるか		典144、	<u> </u>) CV-0
			m 44 o 100 mm	DOMEST AND IL we		ない () ある		(1いる・0		- BLO C	K	-	O	O	
事 才 (1:	9事業のない・()あ	中で、 る)	目的や概要	か類似する	事務事業があ ●	るか。 ない ○ ある							● いる	○ いない	,
	A =1	_		1 16 60				財源(補助(1)	カ金等、受益者負担 いない)	担など)	を確保	している	か。		
	合計 点数	,	点数区分	次年月	度方向性の 目安	判定	有		,				○ いる	● いない	١
	7111 2V1	,	点~8点	事務は	<u>ロス</u> 改善または		効	成果は目	標を達成できている 達成できている・1	るか。 准展し	ている。	○日標は	こ向かってし	いない)	
	12		点∼0点		止·休止	維持または事務改	善性	_		_			_		-1 \ &=1 \
		9.	点~16点		持または 務改善			●日復	葉を達成できてい	ره (進	受してい	° О В	保に円かつで	_ () () ()
					17,4% [<u> </u>									
今	· R4方	向性	→	維持											
サ 度	取組內容		民の健康をデ 主、鯖江市圏	「るため、救 師会と市な	急医療は重要 ド連携し、定着	ぎであり、また市民からの している休日当番医制)ニーズも の周知を	高い。 図っていく	とともに、今後も維	持し、市	方内の	敗急医療	を 体制の確	保に努める。	
₹ŀ	D2年 P	连 脚 /	崔日数 72 E	1											
* 在	R3年月 の実績		世口女人 / 4.1												
度															
^	•														
向ル					啓まえた課題										
けて		輪番	病院(第二	次救急医療		を軽減するため、広報・	やHPなど	で、市内の	初期救急医療体	制の周々	知を図	っていく。	•		
`															
	実績と	課題	を踏まえた	R5年度の	変更点										
	特にな				- 47 44111										
	,,,	-													
	R5方	向性	⇒		維持										
				の日生)	レD5年度士!	 向性が異なる場合に	は その	₩							

【提案型】	5民主役3	事業実施]		_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

CHECK(評価)

業実施]			R4年度		
2020	2021	2022	2023	事業名		
下可能	不可能	不可能	不可能	3-X-L	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
未実施	未実施	未実施	未実施	DE #= ##		
				R5年度 事業名		
取組	可能な	事業の	詳細⇒	争未石	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 **輸江市医師会運営費補助金** 第二市医師会運営費補助金

総合戦略 体系 332 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
市民公開講座	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	-	-		
計算 市民公開講座開催回数 根拠	•	達成率	100	-	-		
根拠		実数値					
住民への医療に関する啓発活動	回	目標値		1	1	1	1
_		実績値		1	-		
計算 2020~ 根拠				100	-		
根拠		実数値					
		ランク	A	A	-]	

前年度 ランク B、Cの 理由

現在

補助金等交付

和	4年	连度	事	務	事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基準年		20	22		262)
	RΛ	1	2010)	2	010	2020	20	101	【単位:千円】	1	人士	L	加入	ŧL.	
事業費	区分	or:	2018		Z	019	2020	20	021	2022	19,	会計		一般会		
業	予算額			270		270	270		243	243	112		をタイ	単独事		
7	決算額	Į į		270		270	270		243		_ا ل_	2	区分	補助費等		
	No	款	項	目	事業		R4年	度事業	美名			予算	書額	うち事業	と額(千円)	
	1	4	1	1	601	医師会等	保健団体補助金						1,540		243	
	2															
威山	3															
歳出予算	4															
算	5以降															
													4	計	243	
														П	2 40	
	No				R4年度	植助金等	名称		金	額(千円)						
	1															
補	2															
助	3															
問助金等	4											事	正規職	8		_
,	5以降											業	上			
									ᄉᆂᆚ	0		要員			0	_
									合計	-			※所要		8	
法令 (1)	き等により よい・Oい	り実施す いえ)	ることが	義務付	けられてい		はい ② いいえ		改善を行っている)	い、コストの削減を 節減でき		るのだ		减できてい 黄ばい		
行正	対実施	すべき	主業か				184° © 147° Z		デジタルキ	支術を活用するなど		加塞は		,,,,	○ 増加し	CVVO
(17	£10.000	いえ)	- ~~ 0			lacksquare	はい 〇 いいえ		(2向上し	ている・1横ばい・0	低下し	ている)		O	
	等のニ					\		効		○ 向上してい				黄ばい	○ 低下し	ている
(21			・1横ば(る見込		少する見え	^{込み)} 黄ばい	○ 減少する見込む	」 率		セス(進め方・手続: ている・1横ばい・0	き)の向 低下し	上を図	引っている)	らのか。		
団.						ストラング 美があるか			(2) 320	○ 向上してい				黄ばい	○ 低下し	ている
	ない・0あ		<i>y</i> – L /	こ院口	している手		。 ない 〇 ある			や事業者に業務委	託して	いるか	•			
事系	条事業の	中で、	目的や概	要が類	似する事	務事業があ	• • • • •		(1いる・0	いない)				○ いる	● いない	
	ない・0あ						ない ○ ある		計源(海)	力金等、受益者負担	ロナン ど):	七球店	リアハス			
	合計		- * -	,	次年度	方向性の	W1 6-22		(1いる・0	いない)	E.G.C.)	在地 口	C C V - &	ມ. ○	● いない	
	点数		数区分	T		安	判定	有	成果は日本	標を達成できている	らか 。			<u> </u>	⊕ v·av·	
	^	0	点~8,	넔		善または ・休止		効性	川(7日・博夫	達成できている・1	進展し	ている	・0目標に	こ向かってい	いない)	
	9		L 40			または	維持または事務改	善一		票を達成できてい	る 🧿	進	屡してい	る〇 目	標に向かってし	いない
		9,	点~16	点		改善										
△	R4方	: 向件=	→	維持	‡											
					- 	+=! - ! · · ·		- IA = I.		alo a 177 leb ale Mil. i a l		B 1.			L 1014-34.E/-	
年度	□ 取組 □ 内容		さへの医 鯖江市B	際に関う	Fる啓発で 市が連携	古勁のため、 した活動を	市の実情にあった内容 継続して行うことで、コロ	の検討を コナ禍の	行つ。また 中、今後ま	、巾の保健事業に すます重要となるil	切言を作 〕民の復	导るた 健康管	の、解仏 理や健康	市医師会を	こ巾か協議を行 ・及を図っていく。	つな
	110															
来	R3年月	度 市月	公開講	座がコロ	コナ禍で閉	見催できず、	代替策として、広報さば	えを活	用した市民	向けの啓発活動を	3回(1~	~3月	実施した	È.		
年	の実績	ì														
及へ																
		# 42 43	とR1年	度の経	(温を路)	まえた課題										
	R3年F	9 - 4 48	- TI				。 公開講座を毎年開催し	ているか	、R3年度に	は広報さばえにて愉	報発化	言を行	う。R4年	度も鯖汁	士匠師人 し 协議	El.
、向け	-10 . 2		部に健康	#思想:	₹ 化 上	いめつい、ロコヒヒ										
向	事業内	容の一	部に健康			いめり、印氏								C OSHILL.	11区明35脚磯	
向け	事業内	容の一				いめり、巾氏								COMPLE.	11円型の大型	
向け	事業内実施方	容の一 法につ	いて検言	けしてい	ζ.									L OSA LL	11 広脚 云 乙 励 磯	
向け	事業内実施方	容の一法につ	いて検言を踏まえ	たR54	く。 手度の変	更点								Z OM II.	1 区単 云 5 協議	
向け	事業内実施方	容の一法につ	いて検言を踏まえ	たR54	く。 手度の変	更点	「医師会と協議し、実施	方法に・	ついて検討	していく。				Z Can L.	1 区甲 云こ 跡 磯	

【提案型】	5民主役	事業実施	1	_	_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

業実施	3	_	_	R4年度		
2020	2021	2022	2023	事業名		
下可能	不可能	不可能	不可能	3-76-11	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
卡実施	未実施	未実施	未実施	DE & DE		
				R5年度		
取組	可能な	事業の	詳細⇒	事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

部署名 健康づくり課 終了年度 開始年度 9999 目的 歯科医師会の医療技術の向上、浸透や育成を通して、市民の口腔衛生管理および歯科思想の普及を図る。 鯖江市歯科医師会の運営費の補助を行う。 コロナ対応 の取組 (R2年度) 鯖江市歯科医師会運営費補助金は歯の健康フェスタの経費で申請され、鯖江市としても本フェスタ開催時には広報活動等で協力をしている。令和 の取組 (R3年度) 鯖江市歯科医師会と幼児健診等の際に新型コロナウイルス感染症対策等への意見交換を行い、安全に健診が行えるようにする。また、住民への歯 の健康づくりについての普及啓発方法について検討する。 (R4年度) 安全に歯科診察が行えるように意見交換をしていく。また、市の実情を報告しつつ、口腔衛生についての啓発について検討していく。 法令等 根拠 内 市民への歯科保健思想の啓蒙および普及を図るために公的助成を行う。 容 実施 形態 現在 補助金等交付

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標						_	
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
歯の健康フェスタ開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
<u>.</u>		実績値	1	-	-		
計算 歯の健康フェスタはコロナ禍で休止。 根拠		達成率	100	-	ı		
根拠		実数値					
		ランク	Α	-	-		

前年度 ランク B、Cの 理由

DO(実施)

CHECK(評価)

印	4年	三度	事	務	事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基準年 【単位:千円	-	20)22			264
#	区分		201	8	2	2019	2020	20	021	2022	9	会	<u> </u>	一般会	計	
事業費	予算			63		63	63		63	5'		-	業タイ	単独事		
費	決算額			63		63	0		0		 	_	費区分	補助費	等	
			-æ		- - Alle		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	le nic de a				→ AA	e also elect	>.b.=b-	业 松 / 子 口	1)
歳出予算	No 1 2 3 4 5以降	<u>款</u> 4	項 1	1	事業 601	医師会等	R4章保健団体補助金	年度事業	《名			予算	1,540	うち事	業額(千月	57
	No				R4年度	崔補助金等	名称		金	額(千円)			£	計		57
	1															
補	2															
助金	3															
金等	4											_				
4	5以降											事業	正規職	-		
									A		J	業要品	会計年			
									合計	0		員	※所要	時間	3	
	う等によ はい・Ou		けること 7	が義務付	けられて				改善を行いている)	ハ、コストの削減を					~ .	
`		,	-1- 40- 1			0	はい ・ いいえ			節減でき				横ばい		加している
	なが実施 よい・()い		事業か。	•		•	はい 〇 いいえ		アンタル社	支術を活用するなと ている・1 横ばい・0	業務ダ 低下し	刃半は ている	に同上して 3)	いるのか。	•	
住目	民等のニ	ーズは	増えてい	いるか。				効		○ 向上して				黄ばい	○ Æ	下している
(2 ¹	曽加する ●	見込み 増加す	・1横は トる見え	い・0減 込み		横ばい	○ 減少する見込		業務プロー (2向上し	セス(進め方・手続 ている・1横ばい・○ 向上してい	低下し	上を ている	5)	るのか。 黄ばい	○ (下している
(1)	ない・0ま	る)				事業があるか ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ない 〇 ある		市民団体(1いる・0	や事業者に業務委		いるか		○ いる		<u> </u>
,-	ない・0a 合計		L W	a	次年度	方向性の	ない		財源(補助	カ金等、受益者負担 いない)	担など)	を確信	呆している	\sim	<u> </u>	abot s
	点数	J	点数区	分	i i	安	判定	有		標を達成できている	スか			○ いる	● い	ない
	9		点~8 点~16		廃止 維持	善または ・休止 または	維持または事務改	文善 対	(2目標を	達成できている・1 を達成できている・1	進展し					っていない
	D4-			内容統		多改善										
	R4大															
年度	取制 内容		民の口閣	控衛生向	上のため	に必要な啓	発を鯖江市歯科医師会	会と協議し	、コロナ禍	での支援を工夫し	て実施	する。				
来年度へ向けて	R3年 新型二 実績 健康児	度実制ロナウニ	を踏また 情とR4年	手度の総 発症の えたR5年 歯科医師	を選を踏ります。 影響もあり 年度の変 「会のブー覧」	まえた課題の大市民への対	啓発の場が少なくなって ・ ・ ・ 市民への啓発を行う。	ている。	₹が実施でき	さなかった。 また、 匍	背江市俊	南科医	を 師会とし	でも会議	を設ける機	会が減少し
				- サルク			与州が男かて担合!!	-) -	7.TH -L-							

 【提案型市民主役事業実施】

 年度
 2019
 2020
 2021
 2022
 2023

 取組選択
 不可能
 不可能
 不可能
 不可能
 不可能
 不可能

 実施状況
 未実施
 未実施
 未実施
 未実施
 未実施

取如	피션	4	事業	Λŧ	子 如	\rightarrow
DI TH	HIB	~/J		V J 🌣	II I I	$\overline{}$

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名		
. ,,, ,	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

内 市民の健康管理および健康情報等の普及啓発を図るため愛育会活動に対して公的助成 容 をおこなう。

R4年度 事業名 第江市愛育会運営費補助金 事業名 第江市愛育会運営費補助金

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

実施 形態

T					•	1	
部署名	健康づくり課	開始年度	0	終了年度	9999		
			V		0000		
目的	愛育会の活動を通して、市民の健康管理および健康	帳情報等の普及啓発を	₫る。				
概要	鯖江市愛育会活動の中で、市民健康管理事業、保	健思想善及重業に対し	て宝施した 補助	対象経費の由か	ふ―完額を補助	する	
194. X	網江中女月五行到の十く、中以健康日生事末、休	促心心自久事未に別し	く 大旭 いた、 抽切	対象性員の干が	りた訳を抽火	1, 0,	
1 del min	(DA - mr) A - m)	++	(A)-ALIM 7 11L =	= × × × × × × ×	o k		
コロナ对心	(R2年度)会議についてはオンライン等による会議を	美施した。また、巾氏をX	「冢に結核す防の	啓発店虭を実施	した。		
の取組	(R3年度)引き続き、感染予防対策を講じながら、活	動を継続する。					
	(R4年度)						

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難		目標値		1			
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
理事会開催数	回	目標値	12	1			
		実績値	11	1			
計算 理事会開催回数 根拠	•	達成率	91.7	100			
根拠		実数値					
会員数 ※2021~	人	目標値			280	270	270
		実績値			280		
計算 根拠	•	達成率			100		
根拠		実数値					
		ランク	В	Α	Α		

法令等 根拠

現在

補助金等交付

25 ページ

和	4年	度	事	務	事業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基準年		20	22		265	
	区分		201	R	2	019	2020	20)21	【単位:千円) 2022		会記	+	一般会	<u></u>	
事業費		5	201	=				20			19	-	<u> </u> タイ	単独事		
業	予算额			45		45	45		40	40	417			年 任 争 補 助 費	-11	
^	決算額	Į		45		45	45		40			在)	区分	佃 助賞	守	
	No 1	款	項 1	目 1	事業 601	医師会等	R4 保健団体補助金	年度事業	美名			予算	書額 1,540	うち事刻	業額(千円) 40	
歳出予算	3 4															
算	5以降												4	計	40	
	No				R4年度	[補助金等	名称		金	額(千円)						
	1															
補	2															
助	3															
助金等	4														_	_
寺	5以降								<u> </u>			事業	正規職			
	02/14											要	会計年	度職員		
									合計	0		員	※所要	時間	8	
法名	き等により	実施す	トることも	が義務付	けられて	いるか。			改善を行	ハ、コストの削減を	図ってい	るのが	か。(2節	減できてい	いる・1横ばい・0♯	曽加し
	まい・0い			343313	.,	- ~	はい 💿 いいえ	<u> </u>	ている)	節減でき	ている		O 1	黄ばい	○増加して	ている
行政	が実施	すべき	事業か。						デジタル	支術を活用するなと	業務交	加率は	向上して	, ,		
(11	#W.00	いえ)				\odot	はい 〇 いいえ	_	(2向上し	ている・1横ばい・0	低下し	ている	·)		O	_, ,
		見込み		い・0減	少する見え	込み) 黄ばい	○ 減少する見ど	対率 性	業務プロー	○ 向上してい セス(進め方・手続 ている・1横ばい・0	き)の向 低下し	上を ている	図っている)		○低下して	
			サービン	スと競合	している事	業があるか	·°o			● 向上してい				黄ばい	○ 低下して	ている
(17	ない・0あ	る)				\odot	ない 〇 ある		市民団体	や事業者に業務委 いない)	託して	いるか	٥,			
(17	ない・0あ		目的や概	既要が類			るか。 ない ⊙ ある		,	力金等、受益者負	担など)	を確保		○ いる か。	● いない	
	合計 点数 	-	数区			方向性の <u>安</u> 善または	判定	有 效	成果は目	いない/ 標を達成できている 達成できている・1	るか。 	7 1\Z	. 〇日 阿 /	○いる	いない (いない	
	11		点~8. 点~16		廃止 維持	·休止 または	維持または事務さ			達成できている・1 『を達成できてい					- · · ·	ない
						改善										
	R4方	向性=	→	維持	寺											
弁 度	取組 内容	従メ	より活!	動してい	た結核予	防について新	的に活動できるようす 所型コロナ感染症対象 を講じながら活動を行	策として活	動を強化す	ర .						
年度	R3年月 の実績	子と 子と	啓発し	た。また、	、活動可能	とな時期には	いなど活動に制限が は、コロナ禍に合わせ: 体操として、創作・普	たテーマで	での食に関	する研修会を実施し	た。					
へ向	DQ在F	年生年	ELD14	一田のも	以温去脉	まえた課題	·									
けて	新型コ	ロナウ		染症予			は 健康づくりに関する普	及啓発等	をどのように	展開するか検討中	である。	. R46	は、愛育	会活動の)パネルを作成し、	愛
	市民の	健康づ	くりを協	働で実力	年度の変 施できる唯 爱を行う。		いあり、とりわけ感染予	防や生活	習慣病予防	5等の啓発活動はこ	그그ナ禍	でこそ	を重要課	題となって	いる。市民の健康	ぎづ
	DE-E	مالتا والر			44	14.										

R5方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型T	5民主役	事業実施		_	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 がん検診事業

がん検診事業

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系

P 部署名 健康づくり課 終了年度 開始年度 1982 9999 目的 定期的ながん検診受診により、がんの早期発見を図り、適切な治療を促し、死亡率の低下に努める。

実施 形態

肺、胃、大腸、子宮、乳がん検診を地区公民館およびアイアイ鯖江等で実施する集団検診および指定医療機関で実施する個別検診のいずれかで受診できる 機会をつくる。また、がんの早期発見、早期治療につながるよう、要精密検査の方には、結果通知後、再受診勧奨を行い、適切な治療を促す。

<mark>コロナ対応</mark> コロナ対応 の取組 コロナ以降、受診控えが続き、受診率低下が著しいため、受診勧奨を強化するとともに、継続受診の重要性を啓発していく。また医療機関での検診受診を勧め の取組 ながらも、集団検診の定員を拡大し、受診希望者が希望する場所で受診できる環境を整えていく。

法令等 根拠 健康増進法

民間等委託(一部)

現在

活動指標

内 受診券発行・企画・結果の管理等は市が行い、実際の検診については、健康管理協会委 託での集団検診、および指定医療機関での個別検診として実施。また、健康管理協会 に、検診結果の通知や結果の管理および精密検査対象者への受診勧奨業務を委託して 実施。

基準年度: 2022

指標名	単 位	牛及	2019	2020	2021	2022	2023
検診回数(集団検診)(半日1回)	回	目標値	150	145	116	88	88
		実績値	143	32	105		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
市が実施するがん検診受診率	%	目標値	43	44	26	26	28
_		実績値	34.9	24.4	26.5		
計算 胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計受診者率(国の報告値)/が 根拠 だし、職域における受診者数は含まない)(H26からは、70歳未)	ん検診数(た	達成率	81.2	55.5	101.9		
根拠 たじ、収収におりる文診有数は含まない (日20からは、70歳末)	側の文彦学	実数値	10,642/30,497	9,700/30,497	8,086/30,497		
		ランク	D	C	٨		

前年度 ランク B、Cの 理由

27 ページ

基準年度: 2022 300 【単<u>位:千円】</u> 2018 2019 2020 区分 2021 2022 会計 一般会計 60,985 事業タイ 補助(国)事業 予算額 69.089 53,726 62,525 57,545 経費区分 物件費 決算額 61.962 51,737 51,737 50,916 目 R4年度事業名 予算書額 うち事業額(千円) 204 がん検診事業費 60.985 60.985 4 1 1 2 3 出 4 5以降 (実施) 合計 60,985 金額(千円) R1年度補助金等名称 No 481 1 がん検診受診者拡大事業補助金(国1/4 県1/4) 2 市町検診受診率アップ事業補助金(県1/2) 181 3 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(国1/2) 381 1 正規職員 1.4 5以降 会計年度職員 0.4 合計 1.043 ※所要時間 0 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加し 法令等により実施することが義務付けられているか。 (・) はい ○ いいえ ○ 節減できている ● 横ばい ○ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) 行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ● はい ○ いいえ ○ 低下している 住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ● 増加する見込み ○ 横ばい ○ 減少する見込み ● 横ばい ○ 低下している 国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ● ない ■務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 ● ない ○ ある (しょ () いない ある 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) 次年度方向性の 合計 ○ いない 点数区分 ● いる 判定 有効性 日安 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 事務改善または 廃止・休止 0占~8占 12 ○ 目標を達成できている ● 進展している ○ 目標に向かっていない 維持または 9点~16点 事務改善 R4方向性⇒ R2年度以降、各がん検診の受診率の低下が続き、進行がんの発見・がん死亡の増加が危惧されるため、受診勧奨対象者(受診券一斉発送対象者)および集団検診の定員数を拡大し、受診希望者が受診できる環境を整えるとともに、通常の啓発活動に加えて、国保年金課や職域(商工会等)と連携して、受診の啓発を行う。また、受診者拡大のため、継続的に受診再勧奨を行っていくとともに、健康管理協会に委託して、精密検査未受診者への受診勧奨を実施する。 度 来 R3年度 コロナによる集団検診の中止・受診控えにより、受診率は26.5%であった。医療機関への負荷も考慮し、継続受診者のうち年代等を絞って受診再勧奨を実 の実績 施した。要精密検査者には、受診勧奨チラシを送付するとともに、精密検査未受診者には、健康管理協会に委託し、電話や郵便による受診勧奨を実施し た。 向 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 け 近年の受診率の伸び悩みに加え、コロナによる受診 近年の受診率の伸び悩みに加え、コロナによる受診控えが相まって、受診率低下が予測される。併せて、検診受診の結果、要精密検査となった方が精密検査の受 診控えをすることも予測される。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

他機関と連携しながら、個別医療機関での受診を積極的に勧奨するとともに、集団検診は対象者を絞り、日程、会場、検診種別等を設定し実施する。また年代や対 象に応じた受診勧奨・再勧奨の方法について検討し実施する。ピロリ菌抗体検査事業を統合する。

R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

ピロリ南抗体検査事業を統合

ECK

Ō N

【提案型ī	5民主役	事業実施			_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 おとな口腔衛生事業 R3年度 事業名 おとな口腔衛生事業

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系 332

部署名 健康づくり課 終了年度 開始年度 2003 9999 目的 う蝕や歯周病の予防、歯の喪失防止(口腔機能の低下防止)、生活習慣の健全化等による歯質強化を図る。 20歳以上の方を対象に健康診査時等にあわせて、歯周疾患検診、歯科相談、歯科保健指導を実施する。 コロナ対応 (R2年度) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、歯周病検診、歯の健康フェスタを中止としたため、成人を対象とした歯科検診は実施でき の取組 なかった。 法令等 根拠 健康增進法 内 密 歯科医療機関に一部委託(歯周疾患のみ) 現在 民間等委託(一部)

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
歯科健診実施回数	п	目標値	5	5	5	5	5
	_	実績値	6	0	5		
成果指標					-		
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	- 単位						
歯周疾患検診受診者数	人	目標値	150	150	150	100	100
		実績値	267	-	78		
計算 令和元年度は歯科医師会共催の歯のフェスタにおいて広く市民	に周知して	達成率	178.0	-	52.0		
計算 令和元年度は歯科医師会共催の歯のフェスタにおいて広く市兵根拠 歯周疾患検診を行ったため、歯科健診実施回数を6回とし、日頃 ける受診者に加えて歯のフェスタにおける受診者も含めることと	催健診にお した。	実数値					
		ランク	Α	_	C	1	
前年度 D2年度は新刑コロナウノルフ蔵沈完廿十時	- ወታ አ ተ		への完員を20人を	7 L) +	U	<u> </u>	

即共度 | R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、歯周病検診の定員を20名とした。 ランク また、歯の健康フェスタも中止となったため、歯周病検診の受診者数が減少した。 B_Cの

理由

令和4年度 事務事業調書(評価対象事業) 基準年度: 2022 312 【単<u>位:千円】</u> 2018 2019 2020 区分 2021 2022 会計 一般会計 424 事業タイ 補助(県)事業 予算額 481 501 301 417 経費区分 物件費 決算額 216 255 274 80 項 目 事業 R4年度事業名 予算書額 うち事業額(千円) 205 健康增進事業費 4 3.778 121 1 2 3 出 4 5以路 (実施) 合計 424 R4年度補助金等名称 金額(千円) No 65 健康增進事業補助金(約10%) 1 2 3 4 正規職員 0.04 5以降 会計年度職員 合計 65 ※所要時間 0 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加し 法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) (・) はい ○ いいえ ○ 節減できている ● 横ばい ○ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) 行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ● はい ○ いいえ 効率性 ● 向上している ○ 横ばい ○ 低下している 住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ● 向上している 横ばい ● 増加する見込み ○ 横ばい ○ 減少する見込み ○ 横ばい ○ 低下している 国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・()いない) ● ない ■務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 ● ない ある しいる () いない ある 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) 合計 点数 次年度方向性の ○ いない 点数区分 判定 ● いる 有効性 目安 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 事務改善または 廃止・休止 0占~8占 14 ○ 目標を達成できている ● 進展している ○ 目標に向かっていない 維持または 9点~16点 事務改善 R4方向性⇒ 今 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、定員を20名とし、換気やソーシャルディスタンスの確保等安全に留意した歯周病健診を実施していく。年 度末年齢40歳の市民に対し受診勧奨のハガキを送付し、受診率向上を目指す。 度 来 R3年度 R3年度は感染症対策に留意して事業を実施した。 年の実績 度 向け R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は定員に満たない検診日があったため、受診者が増加するよう広報や受診勧奨ハガキ等で広く周知することが必要。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

ECK

Ŏ N

引き続き感染症対策を講じ、集団健診にて歯周病検診を行っていく。

R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

こども口腔衛生事業とおとな口腔衛生事業を統合

【提案型市民主役事業実施 年度 2019 2020 2022 取組選択 不可能 不可能 不可能 不可能 不可能 実施状況 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施

1	R4年度 事業名
I	争業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R5年度 事業名

取組可能な事業の詳細⇒

0

0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 **食生活改善推進事業 食生活改善推進事業**

総合戦略 体系 432 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進

11 -20 11 W								
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	
食の健康教室、栄養実習、食生活改善推進員養成講座・ 育成講座等の各種栄養指導の実施回数	П	目標値	30	30	30	10	5	
育成講座等の各種栄養指導の実施回数		実績値	28	-	-			
成果指標								
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	
食の健康教室、栄養実習・栄養改善講座等の各種栄養指	人	目標値	1,500					
導の受講者数		実績値	1,419					
計算 各種栄養指導の年間の受講者		達成率	94.6					
根拠		実数値						
食生活改善に関することの伝達者数	人	目標値		1,500	1,500	1,000	1,000	
		実績値		1,084	2,541			
計算 食生活改善推進員の個人での活動支援:野菜摂取や減塩に	ついて声かけ	達成率		72.2	169.4			
計算 食生活改善推進員の個人での活動支援・野菜摂取や減塩に や電話、メール、ライン、SNS等を使っての伝達。 コロナ禍において、声かけでの活動ができない時があるため、	目標値を見直	実数値						
		ランク	ת	C	٨	1	-	

前年度 ランク B、Cの 理由

活動指標

£⊓	4年	巨煿	: :	事務	事業	調書	(評価	i対象事	工業	:)	基準	年月	ŧ:	20	22			32	1
,	_	-	•	1171	1. 71	H).3 🗀	(ні іш	47.1 274 1	. //	-/	 【単位:千		~.						
	区分	•	2()18	7	2019	20	20	20)21	2022	1 3 4	<u>.</u>	会計	-	一般:	会計		
事業	予算	-		1,107		695		543	`	357		579	タイ	-	きタイ	単独			
業費	決算				_						•)13	プ		区分	物件			
	伏异			354		583		105		225						10011	_		
	No	款	項		事業			R4年月	度事業	美名			-	予算:	書額	うち事	事業額((千円)	
	1		1	1 2	202	食生活改	善推進事	業費							579			579	
ᄴ	2																		
威出	3																		
歳出予算	4																		
算	5以降																		
															4	計		579	
																		010	
	No				R4年月	度補助金等	名称			金	額(千円)								
	1																		
補	2																		
助	3																		
助金等	4														- In-			1.00	_
₹	5以降													事	正規職			1.62	
														業要	会計年	度職員			
										合計		0		員	※所要	時間		0	
			するこ	ヒが義務	付けられて	いるか。		_			ハ、コストの削減	を図っ	ってい	るのか	、(2節	減できて	ている・1	横ばい・0	増加し
(1)	はい・0い	いえ)				\odot	はい(○ いいえ		ている)	● 節減で	きて	いる		O 1	黄ばい		増加し	ている
	女が実施			່ ່ງ`。				^ · · · ·		デジタルオ	支術を活用する	など業	務効	率は	句上して	いるのか	٥٬٠		
	(1はい・0いいえ)																		
	主民等のニーズは増えているか。 ② 情ばい ② 低下している ● 横ばい ② 低下している ② ではいる ② ではいるのか。																		
\						横ばい	○ 減少	する見込み	J.L		ている・1横ばい	•0低	下して	こいる)	-	_		
国・	● 増加する見込み () 横ばい () 減少する見込み 性 (2向上している・1 横ばい・0低下している) 横ばい (低下している																		
	ない・0ま						ない(ある		市民団体	や事業者に業	务委託	してい	るか	•				
			目的	や概要が	類似する事	務事業があ				(14.20	ν ··α. ν · <i>)</i>					● い	3 () いない	
(1:	ない・0ま	5 3)				•	ない(」ある		財源(補肚	力金等、受益者	1 日 担 オ	ر ناء	と確保 しょうしょう	している	か。			
	合計		上粉口	7.5	次年度	方向性の		wi ⇔		(103.0	いない) ~	~	,		.5 11 5	 ◯ เงล	2	いない	
	点数		点数[스 ፓ		安		判定	有	成果は日	標を達成できて	いろか	١.			<u> </u>	5	y viav	
			0点~	8点		善または			対性	(2目標を	達成できている	・1進	虔して	いる	0目標は	こ向かっ	ていない	١)	
	13					<u>・休止</u> または	維持また	とは事務改善		● 目標を達成できている ○ 進展している ○ 目標に向かっている								いない	
			.点~	16点		改善													
<u></u>	・ R4ブ			24	持														
今年	: <u> </u>		_																
度	取制		生活改	(善活動と 突が悪な	して、野菜	を摂取の増加	に減塩に。 明別指道で	kる生活習慣症 は 個々にある	うみな	を図るため、 具体的な学	、野菜1皿プラ. 養指導の実施	ス啓発	活動	と減り	i.普及啓 『予防・』	発活動	を中心に	こ、市民へ ス	より具
	内容	¥ r	. 1 .g. [.	1 T N H D	((((((((((((((((((((VC 137 10 0 / 16	an,110-4- C	10-1 IEI - 10-10-1	J & 7C	X441.04	大田寺の大地	1007	T.111 F	= 1 577	111713	Z/IL 10 1	i M.c.D	•••	
	1																		
来	R3年	度コ	ロナ禍	のため、着	女室や研修	会など人を	集めて行う	活動をすべて「	中止と	し、コロナ道	でも出来ること	を検討	対し、4	特定的	建診時や	地区公	民館と	連携を取り	、特
年	の実験	責定	健診技	ドやイベン	ト時に野菜	と摂取につい	て、展示物	やアンケートに なみに取り知り	より普	及啓発を行	うった。また、引	き続き	個人	での程	各活動	として、	チラシの	の配布や声	ずか
度		さ	、 电 昭	区の会員	数に差が	あり、地区単	位での活	めが主であった	が、中 :が、中	学校区での	の組織を立ち上	げ、応	援体	制を狙	をえた。				
^ <u>+</u>	704						-												
四け						まえた課題		January North			. =	=1. L =		10.1.		~ ¬ ~	Art - 1.1. 1	- C - C - C - L - L	6. E. 7A
って					て、少しす	つコロナ禍丽	に戻すこと	を考慮し、 古事	助内容	・万法の工	夫、見直しを検	討する	必要	かある	5。また、	公民館	等の地は	薬との連 携	を強
	- / •		0																
	実績	と課是	[を踏	まえたR5	年度の変	愛更点													
							畿の体制を	整え、適切なに	内容で	行えるよう	随時マニュア	ルを更	新し、	内容	の統一を	図る。			
	R57	方向性	: ⇒		維	詩													

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型】	5民主役	事業実施		_	_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
•			•		•

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 健康增進事業 健康增進事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

P 部署名 健康づくり課 開始年度 2008 終了年度 9999 健康づくり、生活習慣病予防等に対する理解を促進し、これらを予防するための保健活動を支援する。

実施 形態

目的

生活習慣病予防や疾患管理、運動習慣の定着を図るため、健康教室、健康相談や訪問指導および肝炎ウイルス検診などを実施する。

コロナ対応 の取組 (R2年度) 出前講座や健康教育、肝炎ウイルス検査、骨密度測定はコロナの影響により中止とした。生活習慣病や肥満、禁煙対策について、広報やホーム ページ等で啓発。また、希望があれば個別での健康相談に対応。健康カフェは、コロナ対策としてオンラインで開催。 (R3年度) 広報やホームページ、図書館展示等で生活習慣病や肥満、禁煙対策等について啓発する。出前講座は令和3年度も中止する。健康教育は、定員 を決め、感染対策に留意して開催したり、オンラインで開催する。 (R4年度) R3年度同様。

民間等委託(一部)

法令等 根拠 健康増進法

現在

内 H22から町内の出前健康講座を開催していたが、H31年度からは町内ではなく、地区公 客 民館で出前講座を開催することとした。肝炎ウイルス検査は、集団健診会場で同時実施 しており、厚生連に業務を委託している。

古動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
健康教育(出前講座等)実施回数	回	目標値	150	10	10	12	12
		実績値	154	14	14		
成果指標						-	
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
出前健康教室(町内、地区、各種機関・団体など)延べ参	人	目標値	3,000				
加者数		実績値	5,045				
	出前健康教室(町内、地区、各種機関・団体など)延べ参加者数						
根拠		実数値					
健康教育(町内、地区、各種機関・団体など)延べ参加者	人	目標値		100	100	100	100
<u>数</u>		実績値		338	230		
計算 2020 (コロナ禍) 〜出前健康教室(町内、地区、各種機関・団根拠 康カフェ等の延べ参加者数	体など)や健	達成率		338	230		
根拠		実数値					
		ランク	A	Α	A		

B、Cの 理由

l.												【単位:千円】						
	-	区分		201	8	2	019	2020		2	021	2022	9	会計		一般会計	†	
	事.		6	-	7 5 0 7		C 074	0.0) O C		0.000	0.074	11%	事業タ	,	補助(国	/ 串 张	
	業	予算額	Ę		7,527		6,874	2,0)26		2,002	2,374]]		_		/ 尹未	
	費	決算額	Į	-	7,527		5,266	9	375		1.121		'	経費区	分	物件費		- 1
	Щ				.,		0,200	· ·			_,			-	-			
		No	款	項	目	事業			R4年度	事	業名			予算書額	頂	うち事業	額(千円)	
		1	4	1	2	205	健康増進	重 						3 '	778		2.374	
						200		T A A					-	- 0,	110		2,017	
	445	2																
_	歳	3																
\mathbf{D}	帝												-					
D	出予算	4																
\approx	异	5以降											,					
事																		
金																		
(実施)															合	計	2,374	
						- 11-1		4				= (= = \						
		No					[補助金等	名称			金額	額(千円)						
		1	建康増	進事業	業補助:	金						1.583						
												-,						
	補	2																
	助金等	3																
	金	4																
														事 正	規職員	į	2	
		5以降												**		文職員 変職員		-
														要写	打干儿	又収貝		_
											合計	1,583		員 ※	听要	寺間	0	
=	34. A	Mr. 1.1	·+++-1	1. 1	29 24 74 L		, w 1.			ī	み金と仁い	、コストの削減を図		17 m ds (つ体が	せったーハ	マ. 1 株はい、ハ	kii in i
	达 第	まか・()い	天心で	ることな	い義務何	けられて					以音を打りている)	_			_			
	(1%	761.OF	いえ)				\circ	はい 💿 🛚	ハいえ			○ 節減できて				黄ばい	○ 増加し	ている
	行政	が実施	すべき	事業か。	,			_			デジタル技	で術を活用するなど ている・1横ばい・0個	業務	効率は向上	して	いるのか。		
	(11	tい・Oい	いえ)				\odot	はい 〇 い	ハいえ		(2向上して	こいる・1横ばい・0位	ま下し	ている)	_		_	
	片 臣	等のニ	_ ブ/++	角シアに	ヽスか					交	h	● 向上してい	る	(⋺∦	黄ばい	○ 低下し	ている
ည						少する見	スみ)			翠		ス(進め方・手続き) ወ ሴ	1トを図って	ている	_መ ት		
ᇤ	(2-1		増加す				黄ばい	○ 減少する	ス目ぶる	1	ト (2向 トして	こいる・1横ばい・0位	·下L	ている)	C 4 -0	U) II 'o		
ΕI			H /4F /	- >					りたたか		(2) 3 2 0	○ 向上してい	る	(椎	黄ばい	○ 低下して	ている
CHECK				サービン	スと競合	している事	薬があるか	•			士尼田井	や事業者に業務委員			را پ	,,,,,,	<u> </u>	
K	(1%	ない・0を	ර)					ない 💿 i	ちる		市民団体で (1いる・0)			יעפיע.				
$\stackrel{\sim}{=}$	事務	事業の	中で、目	目的や概	既要が舞	似する事	務事業があ	るか。			(14.5 04				(● いる	○ いない	
評	(17	てい・0を	る)				•	ない 〇 🌡	ちる									
補											財源(補助	金等、受益者負担	など)	を確保して	こいる	か。		
価		合計		数区	↔		方向性の	判別	₹		,	(12K1)			(● いる	○ いない	
		点数		N 900 E	~		安	137	_	植	成果は日本	票を達成できている	か.				<u> </u>	
			0	点~8.	占		善または			交性	(2目標を対	達成できている・1分		ている・0目	目標に	こ向かってい	いない)	
		11	U.	m · 0.	W.	廃止	・休止	維持または	基	19	E			· •••				
			۵.	ኢ∼ 16	; .		または	WE 14 OLICION	- 42/-54 12		│○日標	を達成できてい	5) 進展し	てい	る○ 目標	際に向かってい	いない
			3,5	<i>m</i> - 10	<i>/m</i>	事務	改善											
	_	D4+	向性=	_	維持	# .												
	今		4) EE-	_	州生 3	4												
	年	取組	広報	やホー	ムペー	ジ等で生活	舌習慣病や層	吧満、禁煙対策	等について	啓	発する。肝炎	ウイルス検診は対象	を質	5日年齢に	絞り、	集団健診	時に実施する。	
	度	内容	健康	づくり事	業につ	いては、引	き続き住民	協働の健康づく	りの推進や	イン	センティブを	取り入れた健康ポイ	ント制	度導入に	よる個	人の健康	増進、さらに、生	上活
			習慣	病の発	症予防	を目的とし	た健康教室	を感染対策を	講じて実施	する	0							
			_															
	来	R3年	モ コロ	ナの影響	響により	出前講座	や健康教育	など集団での事	業が引き続	.ĕ□	中止となった。	•						
	年	の実績	生活	i智慎死	5ヤ肥浦	、祭煙对	策については	は、広報やホー	ムペーシなと	£ 70	啓発した。							
	度)建)	ミソノエ	はオノフ	インで開作	重した。											
	~																	
A	11 -	D2年I	年生结	₽D/4	宇宙の幻	以温之脉	まえた課題											
ACT TO	け								- 10 .1. 36-					_				
잂		コロナ(の影響に	より中」	止となっ	た事業が	は3年度は冉	開した事業もあ	るが、出前に	講性	など人を集め	めての啓発は中止し し住民へ啓発してい	てい	る。				
ĪΙ	て	土伯首	貝/内"(刀匠(門)、:	示压剂。	れは、力で	形で、仏刊"	トルーム・ハーン	<i>、</i>	4.C	.万伍を工大	し住氏・、谷光して	'\0					
1																		
Ol																		
Ň		実績と	課題	ト階ま	たR54	年度の変	重点											
									-									
								対策等につい 現場かん			でとかい トネノア	内容を検討する						
		はまる	保普及	画学	貝を伏り	りだり、A、 售病予防	事業(訪問事	ガ惟なこ、忿朱 【拳) ポイントド	ひりへとから	すくらうくり	事業を統合	内容を検討する。 する。						
		WE MIN IT	W = 0	TAN.	T10 D I	X/F3 3 1/3	- ~ (M) ~ -	- 20/ (17 17 17)	TO C DEMIC.	- ()	7×C#10	, ••						
		DE-#	向性=		車務 改	並(他重要	*との連携・	体会)										
		KON	143 EE-	-	于初以	古(旧)子フ	たこの注語が	Mr 🗆 /										
		CHEC	(次年	度方	向性の	目安)と	₹5年度方向	句性が異なる	場合には、	そ	の理由							
		健康体	操普及	事業・	ポイント酢	やめて健康	そづくり事業を	統合										
						NEM												
7+4	14	型市	2 十 47	**	中午1				D/4-#	Т								$\overline{}$
	_					2021	2022	2022	R4年度									
-	<u>年月</u>		2019	20		2021 Tarak		2023	事業名	L		1 - 44 - 2 - 2 - 2	. 79 140	6/举从一	ш,			
			可能	_		不可能	不可能	不可能			市日	民主役事業にかた	る名	1(単位十	H)	•		0
	施出	た況 ラ	主宝施	1 # 5	マ 体	未実施	未実施	未実施										

取組可能な事業の詳細⇒

市民主役事業にかかる額(単位千円):

特定不妊治療費等助成事業

事業名 R3年度 事業名 特定不妊治療費等助成事業

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系 332

部署名 健康づくり課 開始年度 2006 終了年度 9999

不妊治療のうち、体外受精、顕微授精、精巣内精子採取術については、医療保険が適用されず治療費が高額なため、その経済的負担の軽減を図り、治療を 受ける機会を増やす。

一定の要件に該当する人に、特定不妊治療については、1年度につき1回あたり10万円を限度に年3回まで、助成金を交付する。(ただし、新規申請に限り、治 療期間の初日における妻の年齢が39歳以下である場合は、初年度に限り年間6回まで可。) 男性不妊治療については、1回5万円を限度に助成金を交付す る。

| CR2年度| 厚生労働省通知に基づき、コロナの感染防止の観点から不妊治療を延期した者や、コロナの影響で所得が減少した者に対し、年齢要件や所得要件の取組 の緩和を行った。
| CR3年度 | 国および県に準じて所得制限の撤廃、事実婚の夫婦を対象に追加した。
| CR4年度 | 保険適用の円滑な実施に向け、移行期の治療計画に支障が生じないよう、年度をまたぐ一回の治療について経過措置として助成する。

化锤力

累异

法令等 根拠 内 容 の申請により、1年度あたり3回まで(新規申請で治療期間初日において妻が39歳以下の場合は、初年度に限り年間6回まで)の助成を行う。また男性不妊治療(精巣内精子採取術)を受け、交付金の対象となり得る夫婦の申請により、1回5万円を限度に助成を行う。 実施 形態 現在 市直営

年度 2010 2020 2021 2022

1日水口	十匹	十八	2013	2020	2021	LULL	2020
制度の周知活動(広報・HP掲載回数)	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2		
成果指標							
			2010	0000	0004	0000	0000
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
助成対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
_		実績値	100	100	100		
計算 助成件数/申請件数 根拠		達成率	100	100	100		
根拠		実数値	118/118	111/111	119/119		
						1	_
		ランク	Α	A	Α		

前年度 ランク B、Cの 理由

活動指標

R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

	【提案型T	5民主役	事業実施		_	=
	年度					
	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
•						

	R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
	R5年度 事業名		
٠	• >,, =	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

R4年度 事業名 R3年度 事業名 般健康診査事業 ·般健康診査事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

P 部署名 健康づくり課 終了年度 開始年度 2008 9999

目的

健康診査の実施により生活習慣病の早期発見、早期治療に努め、心身の健康の保持増進を図る。

健康診査を受ける機会のない20歳から39歳の市民および生活保護受給者を対象に特定健康診査の検査項目と同様に実施する。

コロナ対応 の取組 の取組 (R2年度)集団健診開始時期を5月から8月として実施する。健診回数を28日36回から10日14回と減らすとともに3密対策として定員制(時間制と人数制限)を実施する。39歳の国保加入者の方への勧奨については人数が限られていることから実施しない。 (R3年度)集団健診について、定員制を設けた形で実施する。また、一般健康診査を目的とした健診日を設定するなど工夫した健診機会の創出を図る。また、 健診日についても人の移動が多数見込まれる連休明けを避けるなどして設定する。 (R4年度)定員制を設けた形で実施する予定。他の健診の人数によって、定員を広げるなど柔軟な対応を実施する。

法令等 根拠 健康増進法 内 集団健診会場で、ビロリ菌抗体検査などの検査項目と併せて希望者に実施できるよう、 容 厚生連に健診実施から結果通知までの業務委託を実施。結果通知後の必要な方への受 診勧奨や健康相談等の保健事業は、直営で実施。 実施 形態 民間等委託(一部) 現在

活動指標		_					
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
集団健診実施回数(半日1回)	П	目標値	37	14	30	19	19
		実績値	36	12	28		
		3					

成果指標						-	
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
健診受診者数	人	目標値	100	50	80	80	80
		実績値	102	41	77		
計算 20-39歳で健診を受ける機会のない方および生活保護受 根拠	合者の5%	達成率	102	82	96.3		
根拠		実数値					
		ランク	Δ	R	Δ	1	

前年度 ランク B、Cの

理由

和	144	丰月	ŧ	事務	事業	調書	(評価	対象導	事業	<u>:</u>)		连年月	₹:	202	22		25	38
Ī.,	区分	4	201	8	2	019	202)	20	21	20:	<u>t:千円】</u> 22		会計		一般会	 計	
事業費	予算	_	201	977			202	487	20		201		タイ	事業		補助(国		
未曹	丁异					1,113				955		907	7	経費		物件費	3/ 于木	
^	決算	観		833		863		347		610				社員	区刀	物厂具		
歳出予算	No 1 2 3 4 5以隆		項 4 1	2	事業 203	健康診査	事業費	R4年	度事業	《名				<mark>予算</mark> 2	書額 7,925	うち事業	紫額(千円) 907	
	No				R4年度	【補助金等	名称			金	額(千円)				4	計	907	
	1	健康	増進事	業補助	金(県2/	3)						66						
補	2																	
助	3																	
助金等	4																	
寺	5以降														正規職	員	0.4	
	0214													女上	会計年	度職員	0.2	
										合計		66		員	※所要	時間	0	
法 (1	令等に。 はい・○	kり実が いいえ	値すること)	が義務作	けられてい		はい(いいえ		改善を行っている)		削減を図っ		るのか		減できてい 黄ばい	va·1横ばい・ 増加	○増加し している
			き事業か	0						デジタル	支術を活用	するなど業	務效	率は向	上して	いるのか。		
	はい・0					•	はい	いいえ			ている・1横	はい・O低 上している		ている)		黄ばい	∩ M.⊤	している
住! (2	増加す	る見込	は増えている・1横に はない1横に はなりまする見る	ばい・0減	少する見 ・	込み) 黄ばい	○ 減少·	する見込み	効率性	業務プロー	セス(進めた ている・1横	·手続き)	の向	上を図 ている)	っている		0	している
(1	ない・0	ある)					ない	ある		市民団体 (1いる・()	や事業者に			いるか。		<u> </u>		
	分争系(ない・()		、日 的 79	灰安か 労	は似りる争	務事業があ		ある		計源(端田	力金等、受	5. 子台切え	د (تاء	た確保		● いる	○ いな	γ·
	合計 点数		点数区	分		方向性の 安	¥	定		(1いる・0	いない)	正石 只 15.9	.C/1	C PE IA		». ● ທる	○ いなり	N
			0点~8	占	事務改	善または			有 効 性		標を達成で 達成できて	きているか いる・1進	、 廃して	ている・	0目標(こ向かって	いない)	
	11		9点~1	****	維持	·休止 または 改善	維持またに	は事務改善	事 注		悪を達成で	きている	•	進展	してい	გ ○目	標に向かっ	ていない
今年度	E Hou		9歳国保	維加入者の 受診行動	· ·)受診勧奨	 啓発を実施 を図り、40歳	ー する。特に、 もからの特定(若い年代に建診受診率	向けた	電子申請につなげる。	こよる健診 ほ 39歳の国保	ョ込み方法 加入者に	や受健康	診券発	発行の申 含めて	i込の確立 健康診査(、普及・啓発 に関する案内	により、 を行う。
来 年度へ		度績					申込を行った め受診したい						。新型	型コロブ	∸ウイル .	ス感染症の	の影響による	受診控
III .	R3年 毎年					まえた課題 が重要であ	[ることから、』	広報やホー	ムページ	ジ等で健康	管理や生活	舌習慣改善	をにつ	いて啓	5発を行	う。		
	健診	回数や	定員の関	係で受		限られてくる	が、集団健設 E健診受診に									ける。国保	の40歳未満の	の方へ

維持

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型]	5民主役	事業実施			
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

事業名 R3年度 事業名 後期高齢者健康診査事業

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系 332

部署名 健康づくり課 開始年度 2008 終了年度 9999

目的 健康診査の実施により、生活習慣病の早期発見、早期治療やフレイル予防に取り組めるよう、また、心身の健康の保持増進ができる。

健康長寿な高齢者(75歳以上)を目指し、生活習慣病の早期発見、疾病の悪化防止およびフレイル予防を図る。また、健診から生活指導および治療までかか りつけ医のもと一体的に支援できる個別健診での受診体制を確保する。

| R2年度) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から健診開始時期を5月から8月に変更して実施する。なお、各医療機関での健診は完全予約制をとるこの取組 | R2年度) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から健診開始時期を5月から8月に変更して実施する。なお、各医療機関での健診は完全予約制をとること、国や県が示したガイドラインを遵守した形での実施とする。 (R3年度) 各医療機関において完全予約制をとった形での実施を行う。 国や県が示したガイドラインを遵守した形での実施とする。 (R4年度) 各医療機関において完全予約制をとった形での実施を行う。 国や県が示したガイドラインを遵守した形での実施とする。

法令等 根拠 高齢者の医療の確保に関する法律 県医師会に委託することで、市内外の指定医療機関で受診できる体制。(市内26ヶ所) 指定医療機関での受診は、健診受診から結果通知および生活習慣病の早期発見、早期 治療、悪化防止まで一環とした体制の中で支援できる。 現在 民間等委託(一部)

古 野指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
指定医療機関(個別健診)	箇所	目標値	295	295	295	286	286
		実績値	292	285	286		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023

健診受診率 目標値 25 20 25 21 実績値 22.4 18.9 18.5 計算 (R4 新型コロナ禍による影響が想定されるため、対象者数 9,000人 受診者数 1,800人で算定) 達成率 89.6 75.6 実数値 1985/8861 1684/8908 1644/8881

理由

和	4年	F度	事	務	事業	調書	(評価対象	事業	<u>(</u>)	基準年		20	22		2!	539
	区分		201	R	2	019	2020	20)21	【単位:千円】 2022	7 -	会	H	一般会	· 計	
事業費	予算額	_				24.466	23.629		26,739		1/9/		<u>''</u> 業タイ		<u>。</u> 国)事業	
老曹				3,184		,				27,007	- 	1	サ区分	物件費		
^	決算額	規	2	3,017		24,075	21,910		21,306		╝┖	胜り	10万	1701丁貝	•	
	No	款	項	目。	事業	44 -44 -4-		年度事業	Ě名				書額	うち事	業額(千円)	
	1	4	1	2	203	健康診査	事業費						27,925		27,007	-
歳	2															
歳出予算	3															-
算	4 5以降															-
	No No				R/f年度	E補助 金等	多数		会	額(千円)			合	計	27,007	
		後間 3	1 松 老 /	生由診	<u> </u>		· 12 17/		ME.	22,060						
44	2	达7 70 F	v mP 1⊟ 1	~~ 100.	且于不们	III 6/21 NF			 	22,000						
補助	3															
問助金等	4															
寺	5以降											事業	正規職	•	0.3	
												要	会計年		0.2	
									合計	22,060		員	※所要	時間	0	
	う等によ はい・Oい		することっ	が義務付	けられて		はい 〇 いいえ	÷	改善を行いている)	い、コストの削減をB				減できてい 黄ばい		·0増加し]している
行政 (1)	なが実施 はい・Oい	すべき いえ)	事業か。	•			はい ○ いいえ		デジタル打 (2向上し	支術を活用するなど ている・1横ばい・0	業務交 低下し	カ率は	向上して	いるのか。	,	
			増えてい		4.1.4.11	· · → \		效		○ 向上してい				黄ばい	○ 低T	している
	•	増加で	よる見込	込み		黄ばい	○ 減少する見込	込み 性		セス(進め方・手続き ている・1横ばい・0 向上してい	低下し	上を ている	5)	のか。 貴ばい	○ 低下	している
	よい・0を) T -E,	人と脱台	している事	事業があるか ●	。 ない 〇 ある		市民団体	や事業者に業務委	託して	いるか	۰,			
	§事業のない・○を		目的や	既要が舞	似する事	務事業があ	るか。 ない ○ ある		,	、 。、 , 力金等、受益者負担	日など)	を確保		● いる か。	○ いな	· (1)
	合計 点数		点数区	分		方向性の 安	判定	有	(1いる・0	いない)				。 ・ いる	○ いな	い
	11	(点~8	点		善または ・休止	かキナナン17 年 24.	效性	川(7日・博え	標を達成できている 達成できている・1	進展し	ている	•0目標	こ向かって	こいない)	
İ	11	9	点~16	点		または	- 維持または事務	以晋	○目標	票を達成できてい	る 〇	進	展してい	る⊙ 目	標に向かっ	ていない
今年度	取組 内容	1 指	定医療機	事務で 機関での 祉課と込	汝善 個別健診	による健康	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を診率増加 業などで76	』を図る。ま 6~78歳へ	た、生活習慣病の早 の受診勧奨を強化	早期発力	見・重	症化予防	デやフレイ	ル早期発見の	健診とし
年度へ		責が	った。また	:、3回目	接種もあ	ったことから	診査事業を実施した。 、令和2年度より受診				開始時	期が	重なったこ	ことにより、	. 早期受診者	が少な
け	後期高	新齢者	と対象と	した健診	であること		[コロナ感染症の影響 型コロナワクチン接種				られ受	診者	が減った。	また、健	診が完全予業	制で人
					年度の変 め、R4年)		双組内容とする。									
	R5大	向性	→		維	持										
	CHEC	K(次	年度方	向性の	目安)と	R5 年度方 [句性が異なる場合	には、その	の理由							

【提案型i	5民主役	事業実施		=.	_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

業実施]	_		R4年度		
2020	2021	2022	2023	事業名		
「可能	不可能	不可能	不可能	• 214 =	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
と 実施	未実施	未実施	未実施	DE At the		
				R5年度		
取組	可能な	事業の	詳細⇒	事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

事業名 R3年度 事業名 特定健康診査(国民健康保険会計)

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系 332

部署名 健康づくり課 開始年度 2008 終了年度 9999

目的 40歳~74歳の鯖江市国民健康保険被保険者が特定健康診査を受診することで、メタボリックシンドローム予防に向けた取り組みや生活習慣病の重症化を予防する。

40歳から74歳までの被保険者を対象に、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防および重症化予防を目的として内臓脂肪症候群の該当者・予備群を的 確に把握するための健康診査を実施する。

コロナ対応 の取組 を重視した健診とする。 (R2年度) 健診開始時期を5月から8月に変更して実施する。また、集団健診においては、定員を設けるとし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために3密 を重視した健診とする。 (R3年度) 集団健診については、完全予約制で人数制限を行って実施する。指定医療機関での健診についても、完全予約制や国、県のガイドラインに沿った形で実施する。健康管理を重視していく体制づくりの中の一つとして健診を位置づける。 (R4年度) 集団健診については、完全予約制で実施する。指定医療機関での健診についても、完全予約制や国、県のガイドラインに沿った形で実施する。

法令等 根拠 高齢者の医療の確保に関する法律 集団健診、個別健診のいずれかで受診できるよう、健診業務は、県医師会の指定医療機関と厚生連に委託して実施。また、健康診査とがん検診のセット健診として実施し、住民の利便性を図る。 実施形態 現在 民間等委託(一部)

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
特定健診(個別健診)会場数	箇所	目標値	295	295	295	286	286
		実績値	294	287	288		
特定健診(集団健診)実施回数	回	目標値	30	14	30	19	19
		実績値	36	12	25		

指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
定健診受診率	%	目標値	35.5	37	38.5	30	30
		実績値	34.3	21.1	26.2		
十算 特定健診受診者/特定健診対象者 ※「データヘルス計画	i」における目標	達成率	96.6	57.0	68.1		
算 特定健診受診者/特定健診対象者 ※「データヘルス計画 現拠 値としているが、R4年度よりコロナ禍の健診であり環境も異な 者数や対象者数を見直した形で設定する。	ることかり文形	実数値	3,167/9,243	1,912/9,076	2,333/8,896		
		ランク	A	С	С		
<mark>年度</mark> 健診開始時期と新型コロナウイルスワクチン	接種の時期	と重なった	ことにより、早ま	胡受診者よりも	夏以降の受診す	当が多くなった こ	ことによる。
ンク							

来 R3年度 住診開始は5月下旬と早めたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために予約制による健診として実施した。受診率は26、2%と前年より5% 年の実績 増にはなったが、令和元年度の水準までは戻っていない。未受診対策において、新型コロナの受診控えになっている可能性があるため、これまで健診を受 サストンとがあるいた。 アンドラントの表もいたが、今和元年度の水準までは戻っていない。不定期受診者は前年度より10%増となっているが、不定期受診者は連続受診者に比べて 度 受診率は半分に留まった。 令和3年度健診日を連続で設定して実施したが、選択の可能性は広がるものの受診者が分散してしまうため効率がよい結果とはならなかった。

向 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 け 令和3年度は健診開始時期とコロナワクチン接種の 令和3年度は健診開始時期とコロナワクチン接種の開始時期と重なったこから、健診開始からの早期受診者が令和元年度に比べると少なかった。個別健診の比重 は多くなってきているが、集団健診で減った分が個別健診で増えるという環境ではないことが分かった。予約制ではあるものの、受診したいという方が受診できるよう集 団健診の1回あたりの人数が多くなるような周知の仕方、体制づくりが必要である。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

Ō N

関係機関と連携し、将来にわたって健康管理を行うためにかかりつけ医を持つ体制づくりを行う。その一環として特定健診を位置づけ、勧奨内容についても健診での 受診勧奨に重きを置く。 集団健診については、健診内容や日程について工夫して設定する。 未受診勧奨についてもこれまで受診してきた方が継続して受診する点に 重点を置く。 新型コロナウイルス感染症の影響で受診機会を確保できなかった人へのフォローや健康管理を重視していく取組として過去の健診結果を活用した受診 勧奨を行う。

R5方向性⇒ 維持

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型T	5民主役	事業実施		=.	=
年度					
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名		
7.7.1	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名		
7-76-1	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

特定保健指導事業(国民健康保険会計)

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系 332

部署名 健康づくり課 開始年度 2008 終了年度 9999 40歳~74歳の鯖江市国民健康保険被保険者でメタボリックシンドロームの発症リスクが高い人に生活習慣病予防や重症化予防ができるよう保健指導を行う。

40歳~74歳までの鯖江市国民健康保険被保険者で特定健診を受診した結果からメタボリックシンドロームの該当者・予備群を抽出し、これらの対象者がメタ ボリックシンドローム予防や生活習慣病の重症化予防のための行動変容につながるよう保健指導を行う。

コ<mark>コロナ対応</mark> (R3年度) コロナ発生時の中止基準に従い、感染対策を十分に行い実施する。利用勧奨は、通知物による勧奨にし、保健指導は、基本的に来所での指導とす の取組 (R4年度) コロナ発生時の中止基準に従い、感染対策を十分に行い、昨年同様に実施する。

法令等 根拠 高齢者の医療の確保に関する法律 特定保健指導実施担当課は、専門職の配置及び健康診査の実施を健康づくり課で実施 している。また、国保年金課との連携が不可欠な状態である。ただ、人材の確保が担当課 では不足しているため、民間に業務を一部委託し実施している。 実施 形態 現在 民間等委託(一部)

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
特定保健指導実施機関数	箇所	目標値	10	10	10	10	10
		実績値	6	6	6		

成果指標			_	_	_		
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
特定保健指導実施率	%	目標値	50	55	55	28	28
<u> </u>		実績値	44.9	19.7	24.5		
計算 動機付け支援利用者数+積極的支援利用者/検診受診者 根拠 より動機付け支援の対象者+積極的支援の対象者×100	の内階層化に	達成率	89.8	35.8	44.5		
根拠 より到機的の支援の対象者主債極的支援の対象者へ100 ス計画の目標値としているが、コロナ禍において、勧奨や指導	実数値	178/396	45/229	68/277			
		ニンカ	п	^	^	1	

前年度 特定保健指導は、特定健診受診者のうち腹囲や血液検査の異常値により対象者が選定され、階層化される。令和3年度の特定健診の受 ランク 診率は、R2年度より、増加したものの、コロナ離れもあり、まだまだ低い状態であり、特定保健指導の対象者も同様である。またコロナ感染予 B、Cの 防のため、特定保健指導の利用勧奨方法が、訪問による対面での指導から通知物、電話による勧奨に変わり減少した。

直営および委託により特定保健指導を実施する。保健指導実施率向上を図るため、引き続き、利用者との調整を市が行い、医師会や委託業者につなぐ体 制を整える。また、済生会人間ドック時に特定保健指導の同時実施、集団健診の日程を決めての結果説明を兼ねた保健指導など、多様な機会を整え、保 健指導を行う取り組みを実施する。このような実施体制を整えるため、市医師会や委託業者、国保年金課と連携を強化し、協議検討し実施する。

来 R3年度 集団健診の場合、健診結果が届いてから、特定保健指導対象者に、電話もしくは通知(コロナのため、訪問から通知に変更)による利用勧奨を行い、同意 が得られれば訪問または来所での保健指導、初回面接を行った。未利用者でリスクの高い方(血液検査等の結果病院受診の必要がある方)へは、再度利 用勧奨と受診勧奨を行った。 また、済生会人間ドック時に特定保健指導の同時実施の仕組みを構築した。

向R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 け 利用勧奨と共に、受診勧奨値の方へ病院受診の受 利用勧奨と共に、受診勧奨値の方へ病院受診の受診勧奨を継続的に行い、生活習慣予防、重症化予防に繋げる。また、コロナ禍により、訪問から通知物による利 用勧奨に変更しているため、利用者が増えるように、通知物の工夫、見直しが必要。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

Ō N

効率性を図るため、医師会や委託業者に加えマンパワーを確保し、体制整備を行う。指導内容が適切に対応できるようにマニュアルの見直し、更新を行う

R5方向性⇒ 維持

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型]	【提案型市民主役事業実施】												
年度	2019	2020	2021	2022	2023								
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能								
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施								

取組	可值	とか	車業	σ	詳細	—

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名 R3年度 事業名 地域自殺対策緊急強化特別事業

地域自殺対策緊急強化特別事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

P 部署名 健康づくり課 開始年度 2009 終了年度 9999 目的 市民の自殺予防対策を推進し、自殺者の減少に努める。 自殺予防の啓発、相談支援体制の充実を図るとともに、関係機関・団体が連携し自殺予防対策を総合的に取り組む。 コロナ対応 の取組 の取組 の取組 (R2年度)ゲートキーバー養成講座や出前健康講座、学校における心の健康づくり事業は集団での開催となるため、感染拡大防止のため令和3年度も中止と する。 心の相談会はアクリル板の設置や換気、消毒など感染症対策に留意し、基本対面での相談とするが、流行時は対面ではなく電話での相談として実施する。 (R3年度)R2年度同様。 (R4年度)講座についてオンラインでの実施を検討する。 法令等 根拠 自殺対策基本法 市直営の定期的な「こころの相談事業」を実施したり、健診等の保健事業や市関係課の窓口等あらゆる機会を捉えての自殺予防の啓発普及活動や関係機関の相談事業等の情報提供を実施。 実施 形態

活動指標				•			•
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
こころの健康づくり講演会等の開催回数	回	目標値	5				
		実績値	9				
こころの相談会や講座等の開催回数	回	目標値		18	25	24	24
		実績値		22	20		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
こころの健康づくり講演会等の参加者数	人	目標値	150				
		実績値	241				
計算 H30年度から、活動指標として講演会に加えてゲートキ 根拠 開催も併せて回数として挙げ、その全体の参加者数を することとする。	・一パー養成講座の	達成率	160.7				
根拠 開催も併せて回数として挙げ、その全体の参加者数を することとする。	以米伯保(こして)計算	実数値					
こころの相談会や講座等の参加者数	人	目標値		40	60	50	50
		実績値		46	51		
計算 R2年度からは心の相談会の参加者数と講座の参加者	数を指標とする。	達成率		115	85		
<mark>拠</mark>		実数値					
		ランク	A	A	В	1	

前年度 ランク B、Cの 理由

現在

市直営

ŢĮ	ጥሥ	4 4	一 文	7	*175	尹禾	叫首	ス国子ョン	小多子	*末	: /	空 中 十 り	Ł:	202	2		200	U
												【単位:千円】						
	事	区分		201	8	2	2019	2020		2(021	2022	12 -	会計		一般会記	-	
	業	予算額	Į		1,148		1,343	ļ	540		835	1,028	1	事業	タイ	補助(県)事業	
	費	決算額	i		814		1.041	4	490		592	·	7	経費	区分	物件費		
	Η						1,071			· 1					s steet	> 1b- 10	MT (~ TT)	
		No	款	項	目	事業	ht de 136 146	-de- 306 atte	R4年度	手	医名		寸	算書		うち事業	(千円)	
	-	1	4	1	2	205	健康増進	事業質						•	3,778		1,028	
	哉	2																
ח	出	3																
DO(実施)	歳出予算	4																
$\stackrel{\smile}{\simeq}$	异	5以降	,				•											
寒																		
施															合	· 計	1,028	
_	H	27				D16:	c ++ tı. 人 AA	· h th			人 4年 /-	с ш\						
		No 1	باد الماء	MLL.nk	* 57 &		度補助金等				金額(-							
	-	1 地域自殺対策緊急強化特別事業補助金(国1/2)								514								
	補	2																
	助金等	3																
	筝	4												車「	E規職員	3	0.23	_
	_	5以降												- 坐	会計年月	-	0.20	
											合計	514			※所要6		0	-
	Ш												L				,	
	法令(11:	・等によ! はい・Oい	実施す いき)	ることだ	が義務信	付けられて	いるか。	はい	11112			ストの削減を図っ		めか。	_		_	
	,			# #K T'				171,	いいえ) 節減できてし 活用するなど業		かけら	,	黄ばい	○ 増加し	ている
	1719 (1に	(が実施 はい・()い	ο ヘさŧ いえ)	争業か。			•	はい 〇	いいえ		(2向上している	6・1横ばい・0低	務別☆	やは円	TCC	ינגטסיי.		
\sim	住民	等のニ	ーズはま	単えてい	ふか.					效)向上している	5		● 核	黄ばい	○ 低下し	ている
й	(2#	曽加する	見込み	・1横ば	い・0減	少する見	込み)			率	業務プロセス(進め方・手続き)	の向上	を図	っている	のか。		
CHECK		(•) :	曽加す	る見込	ひみ	O #	横ばい	○ 減少する	る見込み	19	(2向上している	6・1横ばい・0低)向上している	下して	いる)	●樽	告)ギル	○ 低下し	アいス
$\overline{\mathbf{C}}$	国•!	県または ない・Oあ	民間の	サービン	スと競合	している	事業があるか				_	業者に業務委託		スか	9 19	€1ΦΛ.	O EX I'O	C4.0
K				46 -> tr	mr and 30%	# /N. L + +		ない 💿 2	ある		(1いる・0いな	来省に来初安配 (1)	U CV	• ພ	,		O	
?		き事業の		目的や概	以安か 類	貝似する事	「務事業があ ●	るか。 ない ○ 2	ある) いる	● いない	
価						VI. L					財源(補助金領(1いる・0いなり	、受益者負担な	ど)を	確保し	ている	か。		
		合計 点数	点	数区	分		方向性の 3安	判知	Ē	有		•				● いる	○ いない	
		/\\\ % /\	_	L 0	_		・ 善または			対対性	成果は目標を通	達成できているか できている・1進	。 第1.ア	U.Z.(7日煙1:*	向かってい	いだい)	
		11	0.	点~8.	点		・休止	維持または	事務改善	性								
			9,	5~16	点	維持	または 8改善	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			○ 目標を建	産成できている	lacksquare	進展	してい	る○ 日7	際に问かって	いない
						- ,	7 W T											
	今	R4方	向性=	→	維	持												
	年度	取組	ゲー	トキーノ	パー養原	太講座や出	出前健康講座	は、オンライン	に変更する	など	実施方法を検	対する。 する啓発や心の						
	及	内容	コロ	ナ禍に。	よって増 自殺対領	l加したとえ 第計画等?	きえられる精 定に向けたID	伸的な不調やE り組みを進める	目殺を防止 ため、啓発	し、心	の健康づくりに 診事業の継続に	引する啓発や心⊄ :加えて、関係機	相談:	会を感)情報:		ミに留意して 連携を図る	て実施する。	
			۵,۰	\ -C	142717	不可因不	-C1-1177C-1	() WIT-), G YE-), G		1 1 11	W + X · J ME MU	Julie CV PG PK 184	7400	III TK.	~ !~ · ·	C174 C Ed .	•	
	-th	DOÆ F	¥ #	L+,	·*	た	山前海南鎌瓜	な 作用で問	はナスもの	14	ュールの見く継げってい	+ 1L1 +						
	半年	R3年月の実績	70	ナうつな	ど精神	的な不調					ュナの影響により 、増加したことなる	サエした。 どもあり、心の健原	ぼづくり	に関す	する啓発	色や心の相	談会は感染対	策に
	一度) (115	留意	して継	続して気	其施した。												
	~																	
Ā		R3年	E実績	とR4年	度の	経過を踏	まえた課題											
ACTION	けて											なった。しかし、コ	ロナう	つなど	精神的	な不調を打	包える人が増え	るこ
Ţ	て	とかほ	共されり	こわり、4	いの相談	灰云の帝多	をは向い(20)	、心の相談会は	*您采业对	宋で	講じつつ、実施す	ం .						
Y																		
X		宝繕)	理期2	と跡まる	> 1-D5	年度の変	古田内											
TA								っていた講座等	ま伝え									
		足貝を	i又() /C:	人态未	近刈米	で酔しるん	//り、1に不1」、	りていた時圧寸	€11 /₀									
		R5方	向性=	⇒		維	辪											
		CHEC	〈(次名	度方	向性の	目安)と	R5年度方に	ーーーー 句性が異なる	場合には	70)理由							
		01120	- \/*\	~/J	4 17.47			* IT'M 74.00.00	2 H 19191		H							
Ţ	是案	型市	已主视	事業	実施				R4年度	•						<u> </u>	_	
	年度	Ė	2019	20)20	2021	2022	2023	事業名			100 -L. 100	- M	w				
I H	1 전 급	をおけ コス	・口能	1 不	非能	不可能	一不可能	不可能			市民主	役事業にかか	5細(单位	十円)	•		()

【建秦型】	1) 氏主役:	多葉美胞			
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	取組選択 不可能		不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	エロナ処事帯はあかな類(※はて田) 。	0
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	U

R4年度 事業名 R3年度 事業名 健康体操普及事業

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 332

P L I I N 健康づくり課 開始年度 終了年度 2002 9999 地域における健康づくりや団体で楽しめる体操などの活動支援など、運動を通した健康づくりを推進する。 ライフスタイルに応じた健康体操やこどもから高齢者が一緒に楽しめる健康体操を考案し、また、健康体操の普及・指導を行う。 コロナ対応 令和3年度から少人数での健康教室や個別相談、オンラインによる出前健康体操講座での指導に変更。 の取組 法令等 根拠 健康増進法 内 市オリジナル体操を普及する。 容 実施 形態

沽勁指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
健康体操教室、指導者育成講座、個別相談等の開催	回	目標値	100	100	50	200	200
		実績値	112	41	212		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
参加者数	人	目標値	2,000	2,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	3,189	526	1,040		
計算 参加者数 根拠		達成率	159.5	26.3	104		
根拠		実数値					
		ランク	Α	С	Α	1	

現在

市直営

		-				1. //			17.3 234	• •		•	F 334	<u> —</u>		_					
	П	DZΛ		201	0	1 0	010	200	20		20	01		<u>位:千円】</u>	76	Λ=	₽1.	én 人:	± 1.	1	
	事	区分		201	_		1019	202			20			022	_ 3			一般会			
	業	予算額			245		8		8			8		8	111	事	業タイ	補助(国	1)事業		
	費	決算額			35		0		0			0				経動	費区分	物件費			
		27	-1-1			- 사내스 노는	-			- n/c -b	* AU					予算書額 うち事業額(千円)					
		No No	款	項	目	事業	Andrew 124, 746	-te VIII ette	K44	E度事	朱	名				丁			と額(千円)		
		1	4	1	2	205	健康増進	事業費									3,77	8	8		
	-#a	2																			
\mathbf{r}	出	3																			
묐	歳出予算	4																			
\bowtie	算	5以降																			
実																					
DO(実施																		合計	8		
٣	Щ	No R4年度補助金等名称											. 1				ны	•			
		No				R4年月	E補助金等	名称				金	額(千円)							
		1																			
	補	2																			
	助	3																			
	金等	4														曲	工田市	* E	0.5	_	
		5以降														争業	正規職		0.5		
											ł	A =1		0		業要		F度職員			
												合計		0		員	※所要		0		
				ることが	が義務付	けられて			<u> </u>			改善を行いている)	~				か。(2質	が減できてい	る・1横ばい・0	増加し	
	(1はい・0い)え) ● はい ○ いいえ											-		が減できて				横ばい	○ 増加し	ている	
	行政	が実施す	トベき! ハテ)	事業か。	•			1415	4.00	テジタル! (2向 トし	支術を活り ている・1	申するなど 構ばい・∩	業務	効率は ている	向上し	ているのか。					
\sim	行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ● はい ○ いいえ 住民等のニーズは増えているか。									効	(=,,==		上してい				横ばい	○ 低下し	ている		
띪	(24	神の一つ	える	った してい 1横ば	い・0減	少する見	込み)				率	業務プロー	セス (進め	方・手続き	s)のf	可上を	図ってい	るのか。			
벍		● #	曽加す	る見込	∖み	\bigcirc \dagger	黄ばい	○ 減少	する見込	み	性	(2向上し	ている・1	横ばい・0	低下し	ている	s) 🔘	ldt:) . Y		-117	
CHECK(評	国!	具または	民間の	サービン	スと競合	している事	事業があるか	0				+004		上してい		-1 \ 7 &		横ばい	○ 低下し	ている	
		たい・0ある						ない(ある			市民団体(1いる・0	ヤ争来る いない)	に業務安	記して	いるか	۰°				
	事務 (1)	事業の「	Þで、Ⅰ ス)	目的や	既要が舞	似する事	務事業があ		ある									○ いる	● いない		
価									財源(補助 (1いる・0	力金等、5	经益者負担	など	を確信	紀てい	るか。						
		合計 点数	Ļ	数区	分		方向性の l安	3	判定		+	(10,0.0	いない)					○ いる	● いない		
		从	1								有効	成果は目	標を達成	できている	か。	-112	· \ \ \ \	シェウム・マ	1,4-1,1		
		13 0点~8点 事務改善または 廃止・休止						維持また	は事務改	姜	効性	_			きているか。 いる・1進展している・0目標に向かっていな						
			9,	点~16	占	維持	または 3改善	小田 14 かん	16年初以	. =		● 目標	栗を達成	できてい	る()進	展してい	いる〇目	標に向かって	いない	
=		_	1				以音														
	今	R4方	向性=	→	維持	持															
	年度	取組	20	ナまんを	正による	自粛に伴	う身体活動の	低下=コロ	ュナフレイル	の予防	iعز	改善のため	つプログ	ラムを作品	₹.						
	及	内容	各種	重教室、	個別相	談にて指	導を行う。														
	2pc	D2年度	# ++ r	いるしゃ	所 白油	ヒグルーフ	/3回、公民館	京工業2回	老人クラー	プク回	#	内団体5	司 退スう	本位会に	ア健康	F 休墁:	お道 たん	テット			
	不	の実績	また	、個別	川、日コ 相談を1	68回行	った。	4千木4四、	· 4////	/ Z EI \	, 113	LIMMO	コ、ホワノ	的圆去	CDEA	K PP JAK	IH-47°€1	1.2/50			
	度																				
	^		<u>.</u>																		
ACTION	向は						まえた課題														
뉘	けて	R3年度 その他の	はコロ)期間	け禍のは、個別	感染状≀ ∥相談に	兄に鑑み、 よる普及し	地域活動が に努めた。	できたのは	4か月程度	あり、	予₩	対数の約4	割のみ実	施した。。							
†	_	R4年度	は地域	或活動の	の再開の	兆しがみら	れ、感染予	防に留意し	ながらの集	団指導	Ł	個別相談る	を行ってい	く。							
δl																					
Ň		実績と	課題	を踏ま	えたR5	年度の変	更点														
		令和5年	F度か	ら感染え	対策を講	じた集団	健康教室、個	固別相談に	よる出前健	康体护	吳謙	座での指	導に変更	。(オンラ	化指	導·相	談は希望	望時)			
		健康增	進事業	と統合	する。																
		nr-4	الدار والد		대: 7k-11.	★ / /L → 3	141. a) table 1	#A\													
		R5方					業との連携・														
						目安)と	R5年度方向	句性が異な	る場合に	は、そ	E0)	理由									
		健康増	進事業	をに統一	•																

I	提案型で	5民主役	事業実施	1	<u>-</u> .	
L	年度	2019	2020	2021	2022	2023
I	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
417	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名		
7-76-1	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名		
7.7.1	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

基準年度: 2022 ポイント貯めて健康づくり事業

事業名 R3年度 事業名 ポイント貯めて健康づくり事業

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系

P 部署名 健康づくり課 開始年度 2012 終了年度 9999 市の健康づくり事業の参加に対しポイント制を導入し、楽しみながら事業への参加、特に健康診査・がん検診の受診を促進し、受診率の向上に繋げるとともに市 民の健康意識の向上を図る。 また、保険者である鯖江市が、国の努力者支援制度交付金受給の為、交付金の点数を得るための事業という側面があり、事業は小規模ながら廃止することが できない。 目的 市の健康づくり事業等に参加し、50ポイントを貯めた登録用紙を地区公民館や市に提出することで、「健康ポイント交換券」と参加賞を取得できる。この交換券を健康づくり加盟店に持参すると、健康づくり加盟店が提示するサービスを受けることができる。更に、年度末に抽選で「特賞」がもらえるチャンスがある。楽しく、お得に、健康づくりを目指す。 概要 コロナ対応 の取組 フロナ 禍により、集団健診の開催数減少、いきいき講座・健康寿命ふれあいサロン等の開催減、高年大学の休校、健康づくり推進員会の開催中止などから、チ ラシの配布数が大きく減少した。 健診の受診勧奨、参加促進の考え方を再検討し、状況を見ながら事業体制を見直す。

現在 市直営 活動指標 指標名 2019 2020 2021 2022 2023 達成賞取得者数(のべ) 目標値 100 160 100 100 100 実績値 284 138 241

目標値

実績値

П

内 市民の自己申告による健康ポイントで各種サービスが受けられる。 容

			•		-					
. D. poi 11d 1m²										
成果指標										
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023			
健康診査受診者(特定健診、後期高齢者、人間ドック、後	人	目標値	6,200	4,000	4,500	4,300	4,100			
期人間ドック)		実績値	5,545	3,829	4,207					
計算 H25までは増加数 当該年度受診数 - 前年度受診者数 根拠		達成率	89.4	95.7	93.5					
根拠		実数値								
		ランク	D	۸ .	D	1				

前年度 ランク B, Cの 理由

法令等 根拠

ポイントによる健康づくり事業数

和	4年	度	事	务事	業	調書	(評価対象	事業	<u>:</u>)	基 準年 【単位:千円】	度:	202	22		30	27
事	区分		2018		2(019	2020	20)21	2022	9	会計	ŀ	一般会	計	
争業費	予算額	Į	2	47		189	186		150	151	7/2	事業	タイ	補助(県	L)事業	
費	決算額	Ę	1	97		176	150		143			経費	区分	物件費		
歳出予算	No 1 2 3 4	款			事業 205	健康増進		年度事業	举名			予算	書額 3,778	うち事業	※額(千円) 151	
算	5以降 No			R	2/年度	補助金等	· 夕称		\$	額(千円)			4	計	151	
	1			1/	(4千尺	加则亚寸	11111		亚	板(111)						
444	2															
補助	3															
助金	4															
等	5以降											事業	正規職			
									∧ ⇒1.	0		業要員	会計年		00	
	L								合計	0			※所要	• • • •	80	
(10 行政	き等により はい・Oい 女が実施 はい・Oい	いえ) すべき	することが義 事業か。	務付け	られてい	•	はい ○ いいえ はい ○ いいえ		ている) デジタル打	ハ、コストの削減をB 節減できて 支術を活用するなど ている・1 横ばい・0	ている 業務タ	加率はI	<u>● ∤</u> 句上して	黄ばい	~	している
			増えている	ስ .			124. 0 4.4.2			○ 向上してい			<u> </u>	黄ばい	○ 低下	している
(2)	曽加する	見込み	・1横ばい・	0減少			O 184 1 1	スム 性		セス(進め方・手続き	()の向	上を図	っている	らのか。		
			トる見込み		○ 横	•••	○ 減少する見込	込み	(2向上し	ている・1横ばい・0		ている。		黄ばい	○ 低下	している
(17	ない・Oあ	る) 中で、	サービスと				ない ⑤ ある るか。 ○		市民団体(1いる・0	や事業者に業務委 いない)	託して	いるか	-	 ○ いる	● いない	`
(1)	ない・0あ	る)				0	ない		財源(補助	力金等、受益者負担	など)	を確保	している	か。		
	合計 点数	,	点数区分	次	(年度力 目	方向性の 安	判定	有	(1いる・0	いない)				์ ○ เงอ	● いない	١
	8	(点~8点	事	廃止・		事務改善または	効性	(2目標を	標を達成できている・1 達成できている・1	生展し					
		9	点~16点		維持書		止·休止		○目標	栗を達成できてい	3	進度	きしてい	る○ 目	標に同かって	こいない
今	R4方	向性	⇒	維持	T 4/1	7 F										
年 度	The 4D	力	りもと、「健原	表づくりカ	加盟店」	制度を設け	ンティブ (やる気を起 、加盟店でサービス 録用紙の内容、デザ	が受けられ	る特典がカ	[]わった。						の協
年度へ向	の実績 R3年月	使 使 使 要	成賞取得者 いたよる優 東診査受診	書数は	り事業数 4,207人 過を踏 る	(1回(目程 (目標 4,5) まえた課題	蒙 1回) 00人)	db m = v								
けて			る須条件から を踏まえた を踏まえた				診者数が伸び悩みの	状況である	5.							
	コロナネ	骨を受		を下方	修正する	るとともに、生	生活習慣の改善と、(建診の受診	多者数增加	を目指して、鯖江市	医師会	きと連打	携し受診	啓発に取り	0組むなど、新	たな取

事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由 特定健診の受診率向上を目的としたインセンティブ(やる気を起こさせる動機付け)事業として不可欠だから 健康増進事業に統一

【拼	上案型 i	5民主役	事業実施		_	_
	年度	2019	2020	2021	2022	2023
取	組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実	施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名		
尹禾石	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
R5年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

|鯖江市生活習慣病予防事業(訪問事業) R3年度 事業名 鯖江市生活習慣病予防事業(訪問事業)

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系 332

部署名 健康づくり課 開始年度 2013 終了年度 9999 生活習慣病による国保医療費が増大している中、特に人工透析患者を増やさないために、重症化疾病に移行するリスクの高い人に受診勧奨し、生活習慣改善 指導を継続して行い、医療費軽減を図る。

目的

前年度、当該年度の健診結果から透析への重症化リスク者に対し、通知物により、医療機関への受診勧奨を行う。受診した際には医療機関から情報提供書の 提出をお願いし、情報共有し、医師の指示のもと、管理栄養士又は保健師等が保健指導を実施する。

コロナ対応 の取組 の取組 (R3年度) コロナ発生時の中止基準に従い感染対策を十分に行い実施する。利用勧奨は、通知物による勧奨にし、保健指導は、基本的には来所での指導とす るが、訪問の場合は同意を得て行う。やむを得ない場合は電話対応とする。 (R4年度) コロナ発生時の中止基準に従い、感染対策を十分に行い、昨年度用に実施する。

法令等 根拠 高齢者の医療の確保に関する法律 平成30年度まではプロポーザル方式で業者選定し委託事業であったが、市の管理栄養 士が個別訪問・生活指導を行う。 実施 形態 現在 民間等委託(一部)

- 1							
活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
訪問等件数(指導件数)	件	目標値	80				
		実績値	57				
受診勧奨数(通知による勧奨)	件	目標値		60	60	40	40
		実績値		33	34		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
=1. BB 116 146 -1 / /BH 64. 116 146 -1 \	^/		4 0 0				

訪問指導率(保健指導率) % 目標値 計算 保健指導者数/保健指導対象者数(治療なし+かかりつけ医からの紹介) 根拠 保健指導率 実績値 98.2 達成率 98.2 実数値 56/57 医療機関を受診する受診率 目標値 100 50 50 実績値 57.5 50.0 計算 情報提供書およびKDBシステムや電話連絡等で把握できた人数/受診勧 奨数*コロナ禍において、勧奨や指導の方法が異なるため、目標値を見直 し設定する。 達成率 57.5 50.0 実数値 19/33 17/34

ランク C Α

前年度 健診受診者のうち、重症化リスク者を対象に病院の受診勧奨を行っている。勧奨方法として、コロナウイルス感染症予防のため、訪問での利 ランク 用勧奨から通知物や電話での勧奨に変更し行っている。 B、Cの 理由

ō (実施)

_				→ t	<u> </u>		/	>II.a							_		
和	4年	馬	と 事	務	事業	調書	(評価対象	事業	()		基準年	度:	20	22		31	47
	П.О.		001	0		010	0000	0.0	0.1		位:千円]	- I	\ A =			er /m #A er alls	LL HII
事	区分	£	201	_	2	019	2020	20	21	2	022	9,	会計			康保険事業	侍 別
業費	予算额			5,186		207	299		298		623	17		を ロム	補助(国		
_	決算額	Į		901		112	77		62				在)	区分	補助費等		
	No	款	項	目	事業	41		度事業	名					書額	うち事業	と額(千円)	
	1		6 2	1	1	特定健康	診査等事業費							46,634		623	
歳	2																
弘出予算	3																
算	4 5以降																
	01),14																
														台	情	623	
Ħ	No				D/4FB	建補助金等	5夕称		4	額(千円	1)						
		呆除	者努力	サ揺制!		費連動分			7	E 189 (623						
1,11	2	WIX	H /3/3/	~ 32.41/	~ \ T	XX-31/1	<u>'</u>				020						
補助金:	3																
金等	4														-		
4	5以降												事業	正規職		0.3	_
									合計		623		要員	会計年		0	
24 /	Mrs L	· 	r-1-7-1.	15 辛 76 凵		1 . 7 .b.				11 77L		オーテン	201	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		」)
	まい・0い		iすることが)	か 表 務 竹	りりれて	יעפיע.	はい 〇 いいえ		ている)		の削減を2	-	ישטייגיי		成 Co Cv 黄ばい	・る・1横はい・(● 増加)	
行政	が実施	すべ	き事業か。						デジタル	技術を活り	用するなど	業務效	率は	向上して	,,	<u> </u>	
_	はい・0い					•	はい 〇 いいえ	効		ている・1 () 盾	横はい・0位 可上してい		ている	· ~	黄ばい	○ 低下	している
			は増えてい み・1横ば		少する見	込み)		率	業務プロ	セス(進め	方・手続き	(1)の向	上を図	図っている		∪ PEX I V	
	()	増加	する見込	<u>\</u> み	O #	黄ばい	○ 減少する見込み	4 性	(2向上)	ている・1	横ばい・0/ 1上してい		ている		黄ばい	○ 係下!	ている
	県または ない・Oあ		のサービ	スと競合	している	事業があるか	·		市民団体	本や事業者			いるか		英144.	O EX I'C	/ CV -
			日的や	野悪が粗	i似する事	務事業があ	<u>ない ○ ある</u> るか。			ついをい)				-	● いる	○ いない	`
	ない・0あ		, ш-3 , г	1.	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		ない 〇 ある		田瀬(海	助金等、受	5大老台4	! かど) :	たT# /5				
	合計		点数区	<u> </u>		方向性の	判定		(1いる・	のでない)	(皿省 只1)	: a.C.) 1	C PE I		か。 ● いる	○ いない	
	点数		从外区	n		安 * ****	TILE	<mark>有</mark>	成果は目	標を達成	できている	か。					
	12		0点~8	点		善または ・休止	 維持または事務改	性							こ向かって	,	
			9点~16	点		または	作があたる子が以			標を達成	できてい	る 🥑	進	展してい	る〇目	標に向かって	いない
	7 54-1-		–	<i>λ1</i> 2.3		以合											
今年	R4方			維持		1											
度	□ 取組 □ 内容		建診結果が :、医療機	いら重症へ 関から保	化リスクの ・健指導の	高い高血糖 D指示があれ	者や腎機能低下者を抗 しば、栄養指導を実施す	h出し、レ る。対象	セプト情 者が治療	₩を活用し 対する場合	て、未治療 は、かかり	それる。 つけ医	よび注 からit	療中断者 に紹介の	者を把握し りあった者に	、受診勧奨する に対して栄養指	る。ま i導を
	130	美	施する。	医療機関	₹の協力が	が必要不可欠	欠になるため、市医師会	やかかり	つけ医と	の継続的な	で連携を図	り、事	業を実	施してい	く。		
-	DOÆ:	t	・中ナナト	、水灰は	くん 利用 粉片	の体知担用	書の提出があり、継続し	テルは	化消え仁		. k. / li / lib	占領な	~!\=	r III n t	- 極 車 楽 ナ	巫心 旧唐化	首を扣
米年	の実績		する管理	栄養士	の派遣を	が情報 旋径 依頼し、保健	・音の使血があり、極続し 指導の体制を整えた。	/ C1木1建	旧等を打	っている。さ	にに、休使:	日等に	·)(1)	・、県のス	、抜争果を	文り、休健和学	手を担
度	;																
へ	D2年F	宇宙	結レD16	ド 度 の 幻	以温之脉	まえた課題	i										
け							。 変更し、電話での確認は	よび指	導を行い.	受診の有	無を確認し	記録	てい	る。また希	を診され、風	医療機関からの	指示
7	のもと化	呆健扌	旨導を行い	\指導内	容の報告		る。R3年度は、保健指導										
	守で靴	_መ ንሮ 13 ,3	107J //CO	八旦攻	∞ пь∪ . П	、NG1日-35 M→1	は正正へる。										
П																	

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

効率化を図るため、対象者抽出を絞り込み優先順位をつけ、受診勧奨の方法や事務作業の内容の見直しを行う。また保健指導内容を個々にあわせるため、ケース カンファレンスを十分に行い、業務手順を整え、更新していく。健康増進事業に統合する。

R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型ī	5民主役	事業実施		_	_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

看護師による視力検査を実施。その他の業務については、提案型市民主役事業として NPOみるみえるに委託。

R4年度 事業名 R3年度 事業名 目の健康づくり事業 目の健康づくり事業

若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進 総合戦略 体系

実施 形態

P 部署名 健康づくり課 開始年度 2015 終了年度 9999 近年、子どもの目を取り巻く環境として、メディアやパソコン等の急速な普及に伴い、視力低下等心身への影響が懸念されている。視力不良の早期発見、早期 治療に努めるとともに、メディアやパソコン等の適正使用や目の体操について子どものみならず市民に広く啓発する。また、「めがねのまちさばえ」として眼の健康 づくり「眼育」を推進する。 目的 | | 1歳6か月児健診や3歳児健診において保護者に対してメディア等の適正利用に関する指導・啓発を行うとともに、3歳児健診では看護師によるオートレフラクト メーターを使用した視力検査により、視力不良の早期発見、早期治療に努める。また、目の健康に関する啓発活動や鯖江市のオリジナル体操である「めがねの まちの目のけんこう体操」の普及啓発を行う。 概要 (R2年度)一般向けは、新型コロナ感染症の影響でイベントが中止になり、目の健康に関するイベント開催が困難な状況となった。このため事業が中止となった。 (R3年度)一般向けは、従来のイベントで出展を行う形から、オンラインを活用した情報発信にスタイルを変え、啓発活動を行う。 (R4年度)一般向けは、引き続きオンラインでの情報発信による啓発活動を行う。 コロナ対応 の取組

活動指標											
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023				
就学までに、機器による視力検査の機会を提供する	П	目標値	1	1	1	1	1				
		実績値	1	1	1						
成果指標											
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023				
3歳児健診での機器による視力検査の実施率	%	目標値	100	100	100	95	95				
		実績値	97.1	96.9	94.7						
計算 屈折検査実施数/3歳児健診受診数		達成率	97.1	96.9	94.7						
根拠	実数値	542/558	632/652	550/581							
		ランク	A	A	В]					

当日検査ができなかった児については、概ね半年後に再度3歳児健診開催時に呼び出し、検査を実施していたが、令和3年度は新型コロナ 感染症拡大の影響により、実施できなかった。 前年度 ランク B、Cの 理由

法令等 根拠

現在

母子保健法

民間等委託(一部)

和	4年	度	事	务事業	調書	(評価対象事	業	<u>(</u>)	基準年	变:	202	22		320	63
		1							【単位:千円】	. —	T				
事	区分		2018		2019	2020	2(021	2022	9	会計		一般会		
事業費	予算額		1	94	120	120		256	256	1	事業	タイ	単独事	業	
費	決算額			26	110	104		96			経費	区分	物件費		
	No i	款	項	事業		R4年	度事業	美名			予算	上額	うち事	業額(千円)	
	1	4	1	1 203	妊婦·乳丝	力児健診事業費					7	5,381		96	
-41-	2	4	1	1 204	1 市町村保	健対策推進事業費						1,368		160	
歳出予算	3														
学	4														
算	5以降														
	0.5														
												4	計	256	
													μι	200	
	No			R4年	度補助金等	名称		金額	質(千円)						
	1														
補	2														
助	3														
助金等	4										事	正規職	8	0.1	
	5以降										₩ -	会計年	•	0.1	-
								合計	0			※所要		250	
				務付けられて					、コストの削減を図						
行政 (1) 住耳		べき事 え) ズは増	自えているが	か。 O減少する見	•	はい ○ いいえ		(2向上して) ***********************************	● 節減できて 術を活用するなどがいる・1 横ばい・0 値 ● 向上してい ス(進め方・手続き	業務効 は下しる る)の向	ている) <u>上</u> を図	i上して ・	黄ばい	0	っている っている
国・		,	<mark>る見込み</mark> サービスとi		横ばい 事業があるか	◯ 減少する見込み	. 1	(2向上して	いる・1横ばい・0個 向上してい		ている)	● ħ	黄ばい	○ 低下(ている
	ない・0ある		, _, _,			。 ない ○ ある		市民団体*(1いる・())	う事業者に業務委託 いない)	もしては	いるか。				
	§事業の中ない・○ある		的や概要	が類似する	事務事業があ	るか。 ない ○ ある				<u>+</u> -12\ -	± 70€ /F11		● いる	○ いない	`
	合計		₩. → ₫	次年度	打向性の	Med edia		財源(補助)	金等、受益者負担 いない)	(22)	を催休	している	$\overline{}$	(a) 1 (a)	
	点数	点	数区分		目安	判定	有	成里沙日報	を達成できている	٨١		,	<u></u> いる	● いない	`
	4.0	0,	点~8点		女善または 上・休止		対性	川(り日 増える	を達成できている・1進	展し	ている・	0目標に	こ向かって	いない)	
	12				L・1小业 きまたは	維持または事務改善			を達成できている	5 C	進展	してい	る〇 目	標に向かって	いない
		9点	₹~16点		務改善										
今	R4方向	7件=	>	維持											
弁 度		3歳. るたる	児健診での め、幼児健	診にてメディ	ア利用に関す	を実施し、未検査児や受 でる保健指導の強化を図 対象に、目の体操普及や	ა								
来年度へ向けて	R3年度 3歳児健	実績の	年度は新型に向けの啓列 とR4年度 の屈折検査	コロナ感染 は、コロナイ の経過を顕 を継続して記	症拡大の影響 尚で事業中止 替まえた課題 其施し、R4年		:。	の未検査児は	こ対する再度の検査	č機会	を提供	する。			
	ナの影響	で、集	関の場で	の啓発活動	は中止となった	た。令和3年度は、「目の	けんこ	体操 英語	坂」を作成し、ユーラ	-1-	ブでの	配信を閉	開始した。		

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

一般向けの啓発は、イベントや講座など集団の場で実施する方法だけでなく、引き続きオンラインでの情報発信についても検討していく。

R5方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型T	5民主役	1			
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	未実施	実施	実施	実施
	•		•		·

	R4年度 事業名	まるごと眼の健康づくり事業(一般対象啓発のみ)	
l	7.7.0	市民主役事業にかかる額(単位千円):	160
	R5年度 事業名	まるごと眼の健康づくり事業(一般対象啓発のみ)	1
٠	7.7.1	市民主役事業にかかる額(単位千円):	160

総合戦略 体系 若くて元気のまちの創造 生涯現役で生涯青春のまち 健康づくりと積極的な介護予防の推進

部署名 健康づくり課 終了年度 開始年度 2015 9999 特定健康診査およびがん検診の受診率向上を目指すため、オブションとして希望者に実施する。 ビロリ菌感染は、胃がんリスクのひとつと言われていることから、ビロリ菌感染を早期に発見し、早期治療を勧奨することで、胃がん発症のリスクの軽減を図り、ひいては医療費削減につなげていく。 目的 年度末年齢20、25、30、35歳、40歳~69歳の人を対象に、集団検診および医療機関において血中ビロリ菌抗体検査を実施する。自己負担金は1,000円とする。過去に、ビロリ菌の検査を受けたことがある方は対象外とする。 コロナ対応 の取組

法令等 根拠 内 核査は県医師会または市医師会の指定医療機関と厚生連に委託して実施し、検診結果 適知および精検実施等の記録管理は市が実施する。 実施 形態 現在 民間等委託(一部)

指標名							
指標名		年度	2019	2020	2021	2022	2023
検査回数(集団検診、半日1回)および検査実施医療機関	回	目標値	64	62	55	46	40
(個別)		実績値	64	12	49		
成果指標	<u> </u>		•			•	
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
陽性者への正確な情報提供し、治療を勧めた割合	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
計算 集団検診および単独での個別検診受診者に対する情報提供と 規拠 た割合(%)	ヒ受診勧奨し	達成率	100	100	100		
根拠 た割合(%)		実数値	61/61	39/39	64/64		
		ランク	Α	A	A]	

前年度 ランク B、Cの 理由

活動指標

基準年度: 2022 3264 【単<u>位:千円】</u> 2018 2020 区分 2019 2021 2022 会計 一般会計 742 事業タイ 補助(県)事業 予算額 811 598 699 685 経費区分 物件費 決算額 387 294 279 527 項 目 事業 R4年度事業名 予算書額 うち事業額(千円) 204 がん検診事業費 60.985 4 742 1 2 3 出 4 5以降 (実施) 合計 742 金額(千円) R4年度補助金等名称 No 1 ピロリ菌等検査支援事業補助金 235 2 3 4 正規職員 0.2 5以降 会計年度職員 0.2 合計 235 ※所要時間 0 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加し 法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ○はい (・) いいえ ○ 節減できている ● 横ばい ○ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) 行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ● はい ○ いいえ 効 □ 向上している □ 広に □ 本業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1 横ばい・0低下している) □ 向上している □ 横ばい ○ 低下している 住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ○ 増加する見込み ● 横ばい ○ 減少する見込み ○ 横ばい ○ 低下している 国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・()いない) ● ない 事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 ・ ない ○ ある (しょ () いない ある 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) 次年度方向性の 合計 ○ いない 点数区分 判定 ● いる 有効性 目安 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 事務改善または 廃止・休止 0占~8占 12 ◉ 目標を達成できている ○ 進展している○ 目標に向かっていない 維持または 9点~16点 事務改善 R4方向性⇒ 引き続き、胃がんへのリスクを軽減させるひとつの手段としてビロリ菌検査を検査したことがない $20,25,30,35,40\sim69$ 歳を対象にビロリ菌抗体検査を実施する。検査の結果、要精密検査となった方の精密検査受診を勧奨する。 度 来 R3年度 抗体検査受診者数324名、うち検査結果で要精密検査となった方全員に受診勧奨および精密検査受診に関するアンケートを行った。返信率は40.0%、年の実績 精密検査受診率は36.0%となっている。 向 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 け 要精密検査となった方の精密検査受診は、結果通外 要精密検査となった方の精密検査受診は、結果通知に同封するアンケート等の返信から把握しているが、アンケート返信率が低いため、どの程度精密検査を受診し ているかが不明。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

引き続き20、25、30、35、40~69歳を対象にピロリ菌抗体検査を実施し、受診者への胃がん検診受診勧奨と要精密検査となった方への精密検査に関する適切な情報提供を行う。精密検査については、アンケートやWebフォームを使用し、受診状況を確認していく。 がん検診事業と統合する。

R5方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

がん検診事業に統合

ECK

Ō N

	【提案型T	5民主役	事業実施		=.	=.
	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
- 0						

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

|妊娠・出産包括支援事業(子育て世代包括支援センター)

妊娠・出産包括支援事業(子育て世代包括支援センター)

若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 総合戦略 体系

P 部署名 健康づくり課 開始年度 2016 終了年度 9999

目的 母子保健に関する相談対応を中心に、妊娠期から子育て期にわたるまでの支援を、総合的に実施する「子育て世代包括支援センター」を開設する。

母子保健コーディネーターを配置し、①妊娠期から子育て期にわたる総合的相談および支援、②妊娠期から子育て期に関わる各関係機関との連携・情報の共 有、③全ての妊産婦の状況を継続的に把握、④要支援者には、支援ブランを作成しブランに基づいた支援の実施を行う。

コロナ対応 (R3年度) 国からの情報提供を適時行い、相談については感染症対策のため、相談室の場所やレイアウトを工夫する等環境整備を行った。また、感染症拡大時 には電話による相談を重点的に行い、安心して相談できるように努めた。 (R4年度) 必要時タイムリーに情報提供を行うとともに、感染防止対策を講じながら支援を行う。

法令等 根拠 子ども・子育て支援法 内 母子保健コーディネーターとなる保健師を中心に、窓口・電話・訪問等による妊娠から出容 産・育児までの切れ目ない支援を実施する。 実施 形態 現在 市直営

担保石	- 単位	干尺	2019	2020	2021	2022	2023
母子保健コーデイネーターの配置	人	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
要支援妊産婦への訪問等による支援実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
計算 訪問等支援件数/要支援妊産婦数		達成率	100	100	100		
果指標 指標名 支援妊産婦への訪問等による支援実施率		実数値	143/143	110/110	105/105		
		ランク	A	A	A		

前年度 ランク B、Cの 理由

活動指標

(実施)

ECK

令和4年度 事務事業調書 (評価対象事業) 基準年度: 2022 3349 【単<u>位:千円】</u> 2018 2020 区分 2019 2021 2022 会計 一般会計 6,236 8.562 事業タイ 交付金事業 予算額 6.492 7.616 8.853 経費区分 物件費 決算額 5.803 5,987 7.616 7,696 目 事業 R4年度事業名 予算書額 うち事業額(千円) 202 母子保健事業費 4 28.771 8.562 1 1 1 2 3 出 4 5以降 合計 8,562 金額(千円) R4年度補助金等名称 No 子ども子育て支援交付金(国1/3県1/3) 6.178 1 2 3 4 正規職員 5以降 会計年度職員 1 合計 6.178 ※所要時間 0 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加し 法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) (・) はい ○ いいえ ○ 節減できている ● 横ばい () 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1 横ばい・0低下している) 行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ● はい ○ いいえ 効 □ 向上している □ 広 □ 本 ※ 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1 横ばい・0低下している) □ 向上している □ 横ばい ● 横ばい ○ 低下している 住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ○ 増加する見込み ● 横ばい ○ 減少する見込み ● 横ばい ○ 低下している 国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ● ない 事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 ・ ない ○ ある (しょ () いない ある 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) 次年度方向性の 合計 ○ いない 点数区分 ● いる 判定 有効性 目安 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・()目標に向かっていない) 事務改善または 廃止・休止 0占~8占 12 維持または事務改善 ◉ 目標を達成できている ○ 進展している○ 目標に向かっていない 維持または 9点~16点 事務改善 R4方向性⇒ 今 度

広報誌や関係機関への周知により、昨年度の支援実施率は100%であった。今後も実施率を維持できるよう地元の事業所等とも連携し、「アイアイ親子・サボートセンター」の一層の周知に努めていく。 発達相談支援事業については引き続き子育て支援センターにじいろと連携し、切れ目のない支援を継続する。

来 R3年度 新型コロナウイルス感染症に関する母子の健康不安等により、母子保健型子育て世代包括支援センターの役割は大きくなっている。 年 の実績 感染拡大防止に考慮したうえで、要支援妊産婦への電話や訪問を実施し、支援実施率は、100%だった。 子育て支援センターにじいろの開所にあわせて、のびのび教室を子育て支援課に所管替えした。 発達相談支援事業については、子育て支援センターと連携し、実施した。

向 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題け 今後も支援実施率の100%を維持できるよう、あらば

たり、人人は、大いったともなった。 そ後も支援実施率の100%を維持できるよう、あらゆる機会を捉えて関係機関と連携し、「アイアイ親子・サポートセンター」の周知に努めていく。 R3年度は子育で支援課と連携し、必要時タイムリーに支援を必要とする母子に情報提供できるツールとして、配布用のリーフレットを作成した。 また、子育で支援課に所管替えとなった「のびのび」教室へは子育で支援センターへ健康づくり課の保健師が出向いて移行支援を実施しており、子育で支援セン ターにおける事業として定着しつつある。令和元年度に策定した「鯖江市母子保健型子ども・子育で利用者支援事業マニュアル」を検証した結果、支援が必要な母 子をいかに担当保健師に繋げて切れ目のない支援を行っていくかという点で、マンパワーの問題から困難なことが浮彫となった。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点

支援が必要な母子に対して母子保健コーディネーターのみでなく、担当保健師として受け持ちケースを妊娠期から子育て期まで切れ間なく、きめ細やかに対応でき る体制がとれるよう関係機関との連携し、情報交換を積極的に行っていく。

R5方向性⇒ 維持

CHECK (次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】										
年度	Ė	2019	2020	2021	2022	2023				
取組選	뫬	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能				
実施状	況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施				

取組	可值	とか	車業	σ	詳細	—

R4年度		
事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名		
于木口	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

|妊娠・出産包括支援事業(産前・産後サポート事業) 事業名 R3年度 事業名

妊娠・出産包括支援事業(産前・産後サポート事業)

若くて元気のまちの創造 安心して結婚・出産・子育てができるまち 出産・子育ての負担軽減 総合戦略 体系

部署名 健康づくり課 開始年度 2016 終了年度 9999

妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、助産師等の専門家による窓口・電話・訪問等により相談支援を実施し、母子ともに健やかに 生活できることを支援する。 目的

・ 妊産婦等の悩みや産前・産後の心身の不調に関する相談、早期支援(電話・訪問・来所等)特に主治医等との連携のもと、妊娠期からの体調管理と産後早期 の介入により、母の不安解消を図る。また、地域の子育て支援者と連携し、公民館等において育児相談会を開催し、保健師等育児についての専門職が妊産婦 の各種相談に応じる。 概要

(R3年度)集団での母子健康相談事業を中止または個別相談を重点事業とした。 (R4年度)電話支援や個別相談を重点的に実施する。 コロナ対応 の取組

ō

(実施)

法令等 根拠 母子保健法 内 助産師を月10日雇上げ、妊産婦に対して、電話・訪問・来所での相談支援にあたる。ま 容 た、アイアイ鯖江での育児相談会および生後9~11か月の母子への訪問についても保健 師等の専門職種を雇上げし、相談支援事業を展開する。 実施 形態 現在 民間等委託(一部)

1							
活動指標	指標名 単位 年度 2019 2020 2021 2022 2023						
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
助産師の配置	人	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
育児学級開催回数	П			24	24	22	22
		実績値		8	21		
					1 1 1 1 1 1 1 1 1 24 22 22 22 21 21		
実績値 1 1 育児学級開催回数 回 目標値 24 24 22 22 実績値 8 21							
	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
すくすく育児相談参加率		目標値	50.0	50.0	50.0	50	50
		and a first field					

実績値 53.8 12.0 18.2 計算 実人数/出生数 達成率 107.6 24.0 36.4 根拠 実数値 60/501 102/561 302/561 電話相談実施率 目標値 % 100 100 100 100 100 実績値 95.2 97.0 89.6 電話相談実施数/産婦数 達成率 95.2 89.6 97.0 根拠 実数値 534/561 450/502 584/602

ランク C

前年度 新型コロナウイルス感染症対策として、すくすく育児相談の1回あたりの対応数を減らしているため、出生数に対する参加者実人数が少なく ランク なっている。 B、Cの 理由

介	П	4年	度 事務	事業調書	(評価対象	事業	┋)	基準年度	₹:	2022		335	0
ŀ	7	区分	2018	2019	2020	21	021	【単位:千円】 2022		会計	一般会計		
	# -					۷			9,	事業タイ	補助(国	-	
	* –	予算額	1,669	2/2 2		4,311	イプ	経費区分	物件費				
Ľ	`	決算額	1,373	3 1,68	6 2,221		1,958			在貨区万	物件貨		
		No 3	款 項 目	事業	R4年	度事業	 と名			予算書額	うち事業	額(千円)	
		1	4 1	1 202 母子保	健事業費					28,771		4,311	
Ш.	_	2											
月月	起	3											
	出	4											
	单	5以降											
<u> </u>													
ill										4	計	4.311	
ΊĖ	╡	NT.		D1左座城県人	た ね ひゃ			烟 / 千田 \				,	
	ŀ	No s	フルはなりまし	R4年度補助金			金	額(千円)					
	ŀ		丁保健衛生質 世	国庫補助金(国1/2	2)			2,155					
1	甫	2											
	力全	3					1						
4	筝	4					1			事 正規職	員	Ĭ	\neg
	1	5以降								業会計年		0.4	\dashv
							合計	2.155		員 ※所要		0	-
_	ĿA	生た アカロ	薬施することが義務	付けらわていてふ				い、コストの削減を図っ	アハ	,		l	/ id thn?
		か・()いい		יעסיאט ארקיענו. (י	はい 〇 いいえ		ひ音を11	いったの前滅を図っ			滅 Co Cい 横ばい	る・1機はいり	
7	孙	が実施す	べき事業か。			$-\parallel$	デジタル						C 4 . ©
(114	w.0000	え)	(● はい ○ いいえ		(2向上し	支術を活用するなど業 ている・1横ばい・0低				O 11	
			ズは増えているか。	P. L. 1		交	4	○ 向上している			横ばい	○ 低下し	ている
	2堆		込み・1横ばい・0》 加する見込み	載少する見込み) ● 横ばい	○ 減少する見込み			ヒス(進め方・手続き)(ている・1 横ばい・0低 ⁻			るのか。		
	3 . II			0 54	o 1312 / = 2010 :		(21310	○ 向上している			黄ばい	○ 低下し	ている
	1な	い・0ある)	合している事業がある <i>(</i>	か。)ない ○ ある		市民団体	や事業者に業務委託	してい	いるか。			
1	務	事業の中	で、目的や概要が	類似する事務事業が			(1いる・0	いない)			● いる	○ いない	
	1な	い・0ある)		ない 〇 ある		財源(埔田	力金等、受益者負担な	・よ) >				
֓֞֞֡֓֞֜֞֜֡֓֓֓֓֡֓֡֓֡֓֜֡֡֡֡֓֡֓֡֡֡֡֡	1	合計	ᅡᄴᅜᄼ	次年度方向性の) wilet		(1いる・0	いない)	/ 1		.»。 ● いる	○ いない	
	J	点数	点数区分	目安	判定			標を達成できているか	٠,		<u>ੑ</u>	<u> </u>	
		10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止			リ(クロ接き	達成できている・1進度	接して	ている・0目標は	こ向かってい	いない)	
		12	ط ۱۵ د ال ام	維持または	― 維持または事務改	季 '-		票を達成できている	\mathbb{C}	進展してい	る〇目相	票に向かって	いない
∐L			9点~16点	事務改善			<u></u>						
	今	R4方向]性⇒ 維	i 持									
	年 度	取組	生後9~11か月は	質の母子に対して保備	師等の専門職が訪問によ	り、不知	をや悩みを]	徳くとともに、子育て专	援に	関する情報を	提供する。	子育て支援課	所管
	度	内容	であるハーフバー	スディ事業等とも連	かさせ、事業の周知を行い	、切れ「	目のない支	爱に努める。			3		
IL			J										
	本	R3年度	R3年度のすくすく	育児相談は、相談考	169名(延べ人数)の参加	があった	2。妊娠期1	トらアイアイ親子サポー	トヤ	ンターの周知	を行い、凩~	たときに気軽に	こ相
	牟	の実績	談できる場としての	の認知度を上げる。個	別相談についても、電話が 率は97.0%だった。	どけでな	なく、来所や	訪問など相談者のニー	ーズに	こ合わせた相	談をしていき	たい。	- 114
	度		助産即による座類	11の電品相談美施	やは31.0%につた。								
	1 >	50 to the		And the A. Hall to be to mine	ne .								
	. 1.			経過を踏まえた課	· -	د مل مد -	مد ۱۱۵ څخه خپ	=+++++++++++++++++++++++++++++++++++++) Mark all (18	101 J 1	An a thirt	1.10
			M型コロテリイル/ とができている。	へ怒栄祉刈束を付い	ながら、地区とアイアイ鯖江	L'C'9 \	9 5 頁 尤相	談を美虺した。 時间を	拒疋	し、人数を削り	成したことで	、一組の親士の	200
					て保健師等の専門職の訪問 もあり、今後の実施につい				で、	支援のない時	期の訪問で	、新たなニー	ズの
		101E%	COXIII, CICI	エチで知めている圧が	のの人「人の大地で」と	C10-12	.BJN 22-30						
		実績と記	果題を踏まえたR	年度の変更点									
Ш		生後9~	11か月頃の母子に	対しての訪問指導と	オムツ配布の実施について	検討す	する。						
		R5方向	i件⇒	維持									
						+ 2	カ田中						
		CHECK	伙平及 力问性 ⁰	リロ女/CK0平度)	方向性が異なる場合には	は、て (の任出						

【提案型]	5民主役	事業実施	1	_	_
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	(

R4年度 事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業 R3年度 事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業

総合戦略 体系 ないで快適に暮らせるまちの創造 強靭で安全・安心なまち 防災・防犯対策の推進

 P
 ^{部署名}
 健康づくり課
 開始年度
 2021
 終了年度
 9999

目的 新型コロナウイルス感染症の拡大防止および死亡者や重症者の発生を最小限にすることを目的として、新型コロナウイルスワクチン接種を実施する。 また、新型コロナワクチン接種体制確保の事業を行うことにより、新型コロナワクチンの接種のために必要な体制を実際の接種より前に着実に整備し、ワクチン接種を希望する市民が安心・安全に接種できるようにする。

概要 新型コロナワクチンの接種は、12歳以上の初回接種(1・2回目)と追加接種(3回目、4回目)を実施する。加えて5歳以上11歳以下の小児接種を実施する。 接種にあたっては、市医師会と連携し、医師や看護師の協力を得ながら医療機関における個別接種と特設会場における集団接種の併用体制とする。 接種券の作成・発送、ワクチン接種コールセンターの設置、集団接種・個別接種の体制整備、ワクチンの管理・配送、接種会場へのタクシー助成、接種履歴の 管理、接種証明書の発行などを実施する。

コ<mark>ロナ対応</mark> 集団接種において、被接種者およびスタッフととも入館前の体温チェック、手指消毒、マスク着用の徹底を実施した。また、会場の定期的な換気や机・イス等の の取組 消毒を心掛けた。

1							
活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
個別接種会場数	%	目標値			30	30	30
		実績値			33		
集団接種実施日数	日	目標値			100	40	40
		実績値			109		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
新型コロナワクチン3回目接種率	%	目標値			40	70	75

実績値 47.6 計算 3回目接種者数/対象者人口数(12歳以上) 達成率 119 根拠 実数値 27015/56738 新型コロナワクチン4回目接種率 目標値 % 80 85 計算 4回目接種者数/対象者人口数(60歳以上のみとする) 根拠 実績値 達成率 実数値

ランク A

前年度 ランク B、Cの 理由

D

(実施)

計

DO(実施)

CHECK(評価)

和	4年	F度	事	務	事業	調書	(評価	五対象	事業	<u>:</u>)		基準年	度:	20	22		38	153
	区分		2018	2	2	019	20	020	20)21	\	<u>単位:千円】</u> 2022	11.	会記	+	一般会	+	
事	予算額	_	2010	,		.010	20	720		81.013		202,000	タイ	_	<u> </u> タイ	補助(国		
事業費	決算都	• •								47.883		202,000	- 		マン	その他	/ デ木	
Щ	仄异征	识								,			بال	作工)				
	No	款	項	目	事業				度事業						書額	うち事業	と額(千円)	
	1	4	1	2				スワクチン接							00,000		100,000	1
曲	2	4	1	2	209	新型コロ	ナウイルス	スワクチン接	種体制	確保事業	美費			1	00,000		100,000	
歳出予算	3	4	1	2	210	新型コロ	ナウイルフ	ス対策費(IE	ワクチ	ン接種対	策室)				2,000		2,000	
予	4																	
异	5以降												•					1
																		, -
															合	計	202,000	
	No				R4年度	建補助金 等	名称			金	額(千	円)						
		新型コ	ロナウ	イルスワ				担金(補助	率100			100,000						
補								費補助金(100.000						
助								上補助金(1.000						
助金	4		-, ,	,,,,,,	1	スエムツバ	, IA IL 17.	IN *7J 3E \1				1,000					-	
等	5以降													事	正規職	Į	4	
	01),14													業要	会計年	度職員	5	
										合計		201,000		員	※所要	時間 一		
			トることか	・ 義務付	けられて			<u> </u>			ハ、コス	小の削減を図	ってい	るのか	か。(2節)	域できてい	る・1横ばい・	0増加し
,	はい・ひい	,				•	はい	○ いいえ		ている)		節減できて				黄ばい	○ 増加	している
	(が実施		事業か。			(•)	はい	○ いいえ		アンタルI (2向上し	文術を〉 ている・	舌用するなど 1横ばい・04	乗務ダ よ下し	刃半は ている	向上して)	いるのか。		
住民	等のニ	ーズは	増えてい	るか。					効			向上してい				黄ばい	○ 低下	している
(2±	曽加する	見込み	・1横ば	い・0減	少する見る			小上ッロ は、		業務プロー	セス(進	め方・手続き 1横ばい・04)の向	上を	図っている ⁾	のか。		
			る見込		<u> </u>	黄ばい ************************************		少する見込む	<u>#</u> L			向上してい		C 4 .		黄ばい	○ 低下	している
	県または ない・0を		サービン	と競合	している事	事業があるか	-	ある				者に業務委託	もして	いるか	٠,			
			目的や概	援要が類	[似する事	務事業があ		<u>ு மல</u>		(1いる・0	いない)			(● いる	○ いない	(1)
(14	てい・0を	5る)				•	ない	○ ある		財源(補肚	カ金等.	受益者負担	など):	を確信	している	か。		
	合計	Ι.	点数区分	2		方向性の		判定		(11v3·0	いない		 /			。 ・ いる	○ いない	۸
	点数		3A K.	-		安 *** ***		TIAL	有 効	成未は日	標を達	成できている	か。					•
	12	0	点~8.	点		善または ・休止	44444	と) 上 吉 マケコム		(2目標を	達成で	きている・1追	を 展し	ている	・0目標に	こ向かってい	いない)	
	12	q	点~16	占	維持	または	維持まん	たは事務改	晋	○目標	を達	成できている	5 🖲	進	展してい	る 〇 目	標に向かって	ていない
		J.	m 10	W.	事務	改善												
今	R4方	向性:	⇒															
年度	取組	接利	を希望	する市員	民が、令和	- 04年9月30	日の接種類	切限までに、1	~4回目	の接種が	できるよ	うに集団接利	€や個	別接	種の体制	を確保する	5.	
及	内容	¥ 4回 券 =	目の接種 申請通知	重対象者 を行い、	క(60歳り 、申請に基	人上、基礎疾 をづき接種差	ミ患者)に対 きを作成・多	対する接種券	作成・送	付を実施す	たる。 18	3歳~64歳の	基礎犯	失患者	について	は、3回目	接種者全員	こ接種
年度	R3年月 の実績	度 12元	歳以上の	対象人	口におけ	る初回接種	率(1・2回	目)は80%を	超えてお	おり、追加(3回目)	接種について	は60	% を ≢	望えている	00		
へ向	D2年I	唐宝妇	₽₽/4	度の奴	8温之跡 :	まえた課題	i											
け					率の向上		3											
て																		
	宝矮!	し選野	た跡土	* *DE	年度の変	軍上												
	天积C						つで本り 荘	時点では来	年度の割	旧本込合品								
	国ルテト	ノデス	ノルロ大バ	州におびひり	日本なる人	んころしのもん	/ こめり、切	ラストマング	ア 戊 ツ 製	ינה ור. מינהיי	0							
	国によ																	
	国によ																	
		7向性:	⇒		維	持]										

	【提案型】	5民主役	事業実施]	_	_
	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	取組選択			不可能	不可能	不可能
,	実施状況			未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0